



インフュージョン

在庫スイートクラウド

マルチデバイスオプション

M アプリ マニュアル

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第 1.0 版	2024 年 07 月 18 日	初版
第 1.1 版	2024 年 10 月 23 日	<ul style="list-style-type: none">・Android の HID スキャナー読み取り改善対応・棚卸の論理現品数の表示制御対応・バーコード検証画面を追加・その他不備の修正

はじめに

この度は、「在庫スイートクラウド」をご利用頂き、ありがとうございます。

本書は、マルチデバイスオプション M アプリの基本的な使用方法とモバイル機器での運用について説明しています。ご使用になる場合は本書ならびに「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください、十分に理解した上でご使用下さい。

本文中の表記について

本文中では次のような表記を使っています。

- 本サービス 在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro を指します。
- 本オプション マルチデバイスオプションを指します。
- 本アプリケーション マルチデバイスで提供される M アプリを指します。
- モバイル機器 対応のモバイル機器は無線ハンディターミナルと Android と iPhone です。
共通の説明では特にこのように表記します。
- スマートフォン 特に HT と区別する場合はこのように表記します。
- HT 無線ハンディターミナルです。
特に Android や iPhone と区別する場合はこのように表記します。
- Android 特に HT や iPhone と区別する場合はこのように表記します。
- iPhone 特に HT や Android と区別する場合はこのように表記します。
iPod touch・iPad も含みます。
- アプリストア Google Play または App Store。
- タップ 画面をタッチすること
- 入力ヒント 入力欄に薄い文字を表示し、情報提供を行う機能を指します。
プレースホルダーとも呼ばれる機能です。
- システム管理者 お客様側のシステム管理者を指します。

第1章 概要 13

1-1 M アプリについて	14
[1] M アプリとは.....	14
[2] 従来アプリとの見分け方.....	14
1-2 サービス内容・動作環境	15
1-3 主要スペック	16
[1] 入力項目の入力桁数.....	16
[2] 読取バーコード（カメラ読み取り）	17
1-4 機能一覧	18
1-5 「在庫スイートクラウド」と本オプションの構成	19

第2章 基本動作 20

2-1 インストールと起動・終了	21
[1] インストール（ダウンロード）	21
[2] 起動とログイン	22
[3] ログアウトと終了	24
[4] 自動ログアウト.....	25
2-2 設定	26
[1] システム設定.....	26
[2] 品目台帳の画像設定.....	30
[3] 品目台帳の注意メッセージ設定	30
[4] 設定による画面変更	31
[5] 設定によるヘッダ入カスキップ.....	32
[6] 音量設定.....	33
2-3 メニュー	34
[1] 各作業とメニュー.....	34

[2] フッターメニュー	35
2 - 4 データ入力.....	36
[1] バーコード／QRコードのカメラ読み取り	36
[2] マニュアル入力.....	37
[3] カメラアイコン表示の設定	37
[4] 2つのバーコード取込方式.....	38
[5] 入力時の台帳参照	39
[6] 入力のスキップ.....	39
[7] HID スキャナーの注意点.....	39
2 - 5 実績入力でのヘッダ項目の追加と削除	40
[1] ヘッダ項目の追加と削除.....	40
2 - 6 仕入先、出荷先、直送先の入力.....	41
[1] 仕入先、出荷先、直送先の手動切替	41
[2] 検索が複数ヒットした場合.....	42
2 - 7 品目の入力	43
[1] 設定別の品目入力	43
[2] 標準検索項目の手動切替.....	45
[3] 標準検索項目の自動切替.....	46
[4] 流通バーコードと専用検索項目.....	46
[5] 検索が複数ヒットした場合.....	47
2 - 8 ロケーション・ロット入力有無の設定	48
[1] ロケーション入力の設定	48
[2] ロット入力の設定.....	48
2 - 9 ロケーションの入力	49
[1] ロケーション初期値.....	49
[2] 棚卸のロケーション入力	50
2 - 10 ロットの入力.....	51

[1] 項目の表示.....	51
[2] 日付形式の整形.....	51
[3] 日付入力補助.....	52
[4] 入荷日自動入力.....	52
2 – 1 1 在庫状態の入力.....	53
[1] 在庫状態入力の必要性.....	53
[2] 在庫状態の自動入力と変更.....	53
[3] 在庫状態入力の操作.....	55
2 – 1 2 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力.....	56
[1] 入力時の在庫参照とその活用法.....	56
[2] 推奨ロケーションの表示と入力.....	58
2 – 1 3 QRコード現品票とバーコード現品票.....	59
[1] QRコード現品票.....	59
[2] ロット1、ロット2非表示時.....	59
2 – 1 4 GS1-128/GS1 Databar について.....	60
[1] GS1-128/GS1 Databar の読み取り.....	60
[2] GS1-128 の 2 段バーコード読み取り.....	61
2 – 1 5 数量のキー入力.....	62
[1] 数量入力とソフトウェアキーボード.....	62
[2] 数量の補助入力.....	63
2 – 1 6 数量の自動カウントアップ.....	64
[1] 入荷実績・出荷実績.....	64
[2] 出荷検品.....	66
[3] 加算する数量について.....	67
2 – 1 7 入力中の実績データの確認・修正・削除.....	68
[1] 入力内容の確認方法.....	68
[2] ヘッダの修正.....	69

[3] 明細の削除・修正	70
2 - 1 8 実績データの登録.....	71
[1] 実績伝票の登録と破棄	71
[2] 伝票日付と登録日時	71
2 - 1 9 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作.....	72
[1] 対象伝票の指定方法.....	72
[2] 検品作業.....	73
[3] 検品の登録.....	74
[4] 複数のモバイル機器での入荷検品.....	74
2 - 2 0 出荷検品（本引当）の操作.....	75
[1] 対象伝票の指定方法.....	75
[2] 検品作業.....	76
[3] 検品の登録.....	77
[4] 複数のモバイル機器での出荷検品.....	77
[5] 元伝票番号検索について.....	78
[6] 指示明細の変更.....	78
2 - 2 1 倉庫間出荷の操作.....	79
[1] 倉庫間入荷の同時登録.....	79
2 - 2 2 現品票（ラベル）発行.....	80
[1] 発行の流れ.....	80
[2] 標準テンプレートの提供.....	81
[3] 対応機種やラベル、設定手順.....	81
2 - 2 3 件数が多い場合について.....	82
[1] 入力画面の明細件数について.....	82
[2] 在庫参照について.....	82
[3] 品目選択について.....	82
[4] 元伝票番号について.....	82

第3章 入荷 83

3-1 入荷実績	84
[1] 作業概要.....	84
[2] 入力画面.....	84
3-2 入荷検品	85
[1] 作業概要.....	85
[2] 入力画面.....	86
3-3 入荷返品	87
[1] 作業概要.....	87
[2] 入力画面.....	87
3-4 倉庫間入荷	88
[1] 作業概要.....	88
[2] 入力画面.....	88

第4章 出荷 89

4-1 出荷実績	90
[1] 作業概要.....	90
[2] 入力画面.....	91
4-2 出荷検品（仮引当）	92
[1] 作業概要.....	92
[2] 入力画面.....	93
4-3 出荷検品（本引当）	94
[1] 作業概要.....	94
[2] 入力画面.....	95
4-4 出荷返品	97
[1] 作業概要.....	97

[2] 入力画面.....	97
4 – 5 倉庫間出荷.....	98
[1] 作業概要.....	98
[2] 入力画面.....	98
第5章 振替 _____	99
5 – 1 移動	100
[1] 作業概要.....	100
[2] 入力画面.....	100
5 – 2 在庫状態変更	101
[1] 作業概要.....	101
[2] 入力画面.....	101
5 – 3 移動&在庫状態変更.....	102
[1] 作業概要.....	102
[2] 入力画面.....	102
第6章 棚卸 _____	104
6 – 1 棚卸	105
[1] 作業概要.....	105
[2] 入力画面.....	105
第7章 在庫参照 _____	106
7 – 1 在庫参照（品目別）	107
[1] 作業概要.....	107
[2] 入力画面.....	107
7 – 2 在庫参照（詳細）	108
[1] 作業概要.....	108
[2] 入力画面.....	108

第8章 ツール _____ 109

8-1 現品票発行.....110

[1] 作業概要..... 110

[2] 入力画面..... 110

8-2 バーコード検証.....111

[1] 作業概要..... 111

..... 111

[2] 入力画面..... 111

[3] ガイダンス・警告メッセージ 112

第9章 設定・確認 _____ 113

9-1 設定・確認メニューの呼び出し.....114

9-2 プリンター設定.....115

[1] 作業概要..... 115

[2] 入力画面..... 115

9-3 実績ヘッダ初期値.....116

[1] 作業概要..... 116

[2] 入力画面..... 116

9-4 デバイス情報.....117

[1] 作業概要..... 117

[2] 確認画面..... 117

第10章 付録 _____ 118

10-1 警告.....119

[1] 警告画面表示..... 119

[2] 警告一覧..... 119

10-2 エラー.....121

[1] エラー画面表示.....	121
[2] エラー一覧（共通）	122
[3] エラー一覧（Proのみ）	125

第1章 概要

1 - 1 M アプリについて

[1] M アプリとは

お客様はアプリストアから、在庫スイートクラウドアプリをインストールしてご利用いただけます。
スマートフォンや各種環境の変化に伴い、2024年より新たなアプリを提供することとなりました。
それが「M アプリ」です。
M アプリは Android と iPhone それぞれ用意します。

注意！

マルチデバイスオプションは M アプリに集約されます。
従来アプリ（「在庫スイートクラウド」または「在庫スイートクラウド S」）は、いずれアプリストアから削除され、インストールできなくなります。
早めに M アプリへ移行をお願いいたします。

[2] 従来アプリとの見分け方

ログイン画面のタイトルが「在庫スイートクラウド M」となっているのが、M アプリです。



1 – 2 サービス内容・動作環境

■ サービス内容

システム提供時間	24 時間 365 日
ヘルプデスク提供時間	当社営業日 9:00-12:00 13:00-17:30
データセンター	Microsoft Azure 日本データセンター *1
セキュリティ	SSL/TLS 256bit

*1. サーバーの冗長化とデータ保護、サーバー監視と障害対応は Microsoft Azure に依存

■ 動作環境

モバイル機器	Android	<ul style="list-style-type: none"> ・Android9 以上 ・メモリ 4GB 以上を推奨 ・インターネット接続 ・Bluetooth 接続 ・カメラ付き ・64bit 版アプリが動作すること ・バーコードのキー出力&終端 Enter (ハンディターミナルのみ) <p>※全ての端末での動作を保証するものではありません。 ※Google Play でのインストールを推奨。*1</p>
	iOS	<ul style="list-style-type: none"> ・iOS 15.0 以上 ・iPhone/iPod touch/iPad に対応。
ネットワーク	常時接続可能なインターネット回線 回線速度：最低 3Mbps 以上（10Mbps 以上を推奨） HTTPS(ポート 443)による、インターネット経由での弊社クラウドアプリケーションサーバーへのアクセスが可能なこと	

*1. Google Play を経由しないインストールも可能ですが、アプリのバージョンアップは手動で行う必要があります。

1-3 主要スペック

[1] 入力項目の入力桁数

バーコードやQRコードによる入力では、システムの最大桁数まで入力出来ます。
表示桁数は使用するデバイスの画面サイズや解像度により異なります。

項目	文字種	システム最大桁数 (入力最大桁数)
Keyコード	半角*1	32桁
品目コード	半角*2 (英字は大文字のみ)	50桁
数量	整数+小数	9桁+3桁
箱数	整数	5桁
倉庫コード	半角英数字*1	6桁
ロケーションコード	半角英数字*1	17桁
出荷先コード 仕入先コード 直送先コード	半角英数字*1	15桁
グループID	英数字	30桁
ユーザー	英数字*3	20桁
パスワード	英数字	20桁
ロット1・2	全角・半角*4とも	40桁
伝票番号	数字	12桁
元伝票番号	全角・半角*4とも	35桁

*1…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。なお、先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。

*2…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。なお、末尾のスペースは削除して入力されます。

*3…数字(0~9)、英字(大文字/小文字は区別されません)、「-」「_」「.」が入力可能です。

*4…「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。

[2] 読取バーコード（カメラ読み取り）

本アプリケーションで対応するバーコード種別です。

バーコード種別	Android/iOS
CODE39	○*1
CODE93	○*1
CODE128	○
Codabar(NW-7)	○*1
JAN/EAN	○
UPC-A/UPC-E	○*1
ITF *4	○*1
GS1-128*2	○*1
GS1DataBar	×
STF	×
MSI	×
QR *3	○
DataMatrix	×
PDF417	×
Maxi	×

*1…読み取りを有効するにはシステム設定[読み取りシンボル]をオンにする必要があります。

*2…バーコードシンボルとしての対応です。

対応するアプリケーション識別子については「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」マニュアルをご覧ください。

*3…半角カナは非対応

*4…14桁、16桁のITFのみ読み取りが可能です。

ヒント！

本アプリケーションで対応するバーコード種別について、システム設定＞モバイル（拡張）＞[直接取込時の処理]-[読み取りシンボル]により、カメラでの読み取りの有効/無効を設定可能です。

1-4 機能一覧

本サービスの機能一覧です。

エディション		棚卸	Lite	Pro
権限管理	ログイン認証	○	○	○
入荷	入荷実績	—	○	○
	入荷検品	—	—	○
	入荷返品	—	○	○
	倉庫間入荷	—	○	○
出荷	出荷実績	—	○	○
	出荷検品 *1	—	—	○
	出荷返品	—	○	○
	倉庫間出荷	—	○	○
振替	移動	—	○	○
	在庫状態変更	—	○	○
	移動&在庫状態変更	—	○	○
在庫参照	在庫参照 (品目別/詳細)	○	○	○
棚卸	棚卸	○	○	○
ツール	現品票ラベル発行 *2	○	○	○
	バーコード検証	○	○	○

*1・・・設定により仮引当または本引当に対応します。

*2・・・現品票ラベル発行で使用するプリンターの対応機種・対応ラベルについては
オンラインサポート「構築情報」をご覧ください。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

1-5 「在庫スイートクラウド」と本オプションの構成

「在庫スイートクラウド」の構成を示します。



インターネットに接続された機器でご利用頂けます。

詳しくは、在庫スイートクラウドと、マルチデバイスオプションの動作環境をご確認下さい。

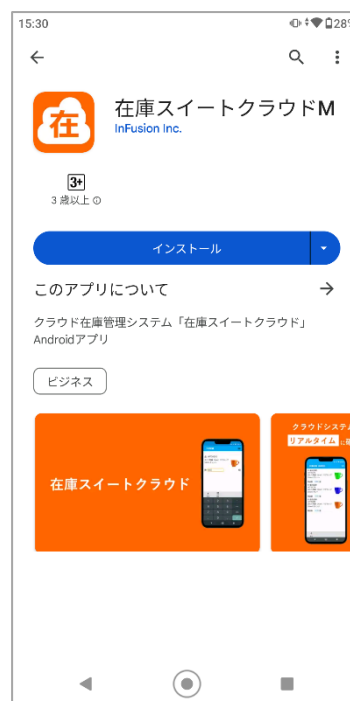
第2章 基本動作

2-1 インストールと起動・終了

[1] インストール（ダウンロード）

お客様はアプリストアから、在庫スイートクラウドアプリをインストールする必要があります。

まずは、アプリストアで「在庫スイートクラウド M」を検索しダウンロードして下さい。



ヒント！

Android で GMS 非対応の機種や管理上の理由で Google Play を無効化している場合など、Google Play を経由せずにインストールする方法についてはオンラインサポート「インストールページ（Android「在庫スイートクラウド M」）」の【GooglePlay を経由せずインストールしたい場合】をご覧ください。

https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/install_android_m.htm

[2] 起動とログイン

アイコンをタップし、アプリを起動すると起動画面を表示し、ログイン画面となります。
アカウント情報をバーコードまたはテンキーで入力します。



注意！

ご利用中の本アプリケーションが最新でない場合、ログイン後にアップデート通知のメッセージを表示します。

アップデート通知のメッセージが表示された場合は、速やかに本アプリケーションのバージョンアップを実施してください。

※バージョンがあまりに古い場合など、ログインができなくなる場合があります。

ヒント！

PC クライアントアプリでは、ログイン用 QR コードラベルを発行できます。

読み取ることで、グループ ID とユーザー ID が入力されます。

(パスワードの入力は必要です)

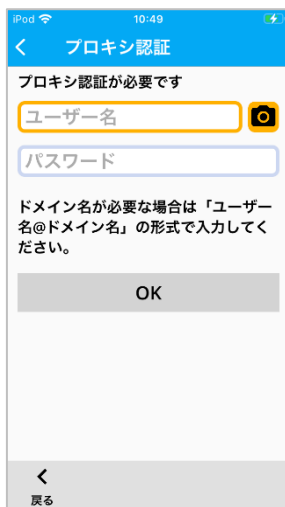
第2章 基本動作

アカウント情報が正しければ、次の画面に進みます。

ユーザーの所属倉庫が「全倉庫」で倉庫が複数存在する場合や複数倉庫所属の場合は、ログイン倉庫を指定します。倉庫が決まると、メニューが表示されます。

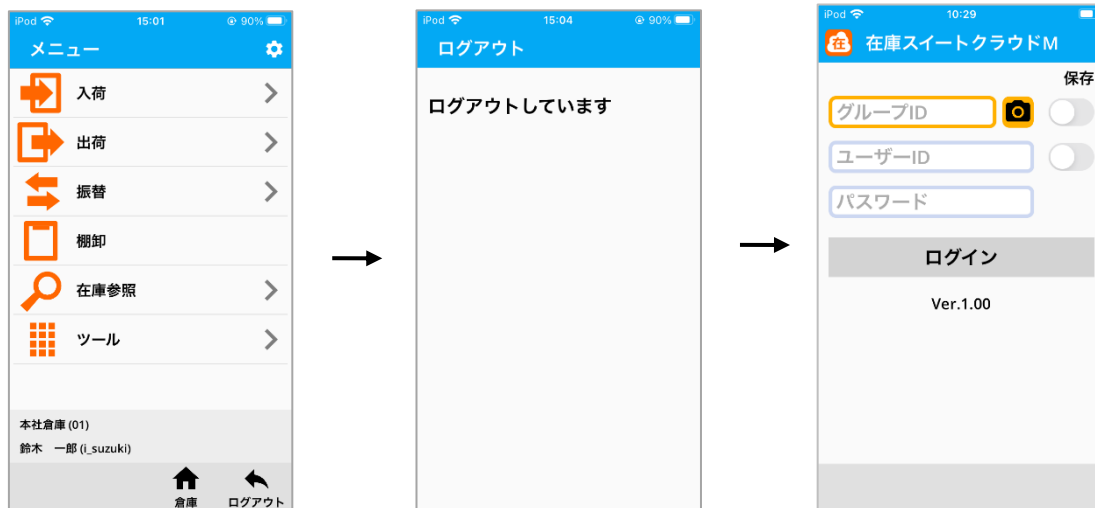


なお、WiFi にプロキシが設定されている場合、ログイン時にプロキシの認証画面が表示されます。プロキシのユーザーID とパスワードを入力してください（一度入力すると保存されます）。



[3] ログアウトと終了

終了する時は、まずメニュー画面よりログアウトしてください。
(ログアウトしなければ該当ユーザーはログイン中と判断されます)



なお、アプリの終了方法や、デバイスの電源を切る方法は各デバイスや OS の仕様に従います。

[4] 自動ログアウト

一定時間無操作の場合、自動ログアウトし、ログイン画面に遷移します。
引き続き利用する場合は、改めてログインして下さい。

ヒント！

自動ログアウトするまでの時間は、システム設定> モバイル(拡張)> [自動ログアウト]の
[ログアウト時間]で設定が可能です。

2-2 設定

PC側のシステム設定や品目台帳により、本アプリケーションの動作が変更します。

[1] システム設定

本アプリケーションに関連するシステム設定は以下の通りです。

なお、システム設定は「システム管理者権限」を持つユーザーのみ利用出来ます。

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

数量

小数入力 禁止 (整数のみ許可)
 許可 小数桁 2

在庫管理(Z)

通常品以外の在庫状態を拡張する

入荷時の在庫状態 通常品 明細入力

出荷時の在庫状態 明細入力

在庫参照(品目別)の初期条件指定
 一括引当対象外を出荷不能で算出する

使用項目

品目コード 品目名2
 品目台帳-予備項目 品目台帳-注意メッセージ
 品目台帳-ロット入力 品目台帳-トレース情報入力
 倉庫台帳-同時登録倉庫 倉庫台帳-使用項目

メニュー表示

入荷予定と入荷検品 出荷指示・引当と出荷検品
 未入荷の倉庫間出荷

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

第2章 基本動作

タブ	設定項目	モバイル機器側への反映内容
システム運用	小数入力	設定に従います。
システム運用	通常品以外の在庫状態を拡張する	設定に従います。
システム運用	入荷時の在庫状態 明細入力	入荷時に在庫状態を入力する場合は、明細入力を ON に設定します。その際の初期値は入荷時の在庫状態で指定します。 ※明細入力が ON の場合は、入荷実績の数量自動カウントアップを ON にできません。
システム運用	出荷時の在庫状態 明細入力	出荷時に在庫状態を入力する場合は、明細入力を ON に設定します。 ※明細入力が ON の場合は、出荷実績の数量自動カウントアップを ON にできません。
システム運用	使用項目 > 品目コード	OFF では、画面に品目コードが表示されません。
システム運用	使用項目 > 品目台帳-注意メッセージ	OFF では、画面に注意メッセージが表示されません。
システム運用	使用項目 > 倉庫台帳-同時登録倉庫	倉庫間出荷時、倉庫間入荷の同時登録を行う場合は ON にします。 ※Pro、Lite のみ
システム運用	使用項目 > 倉庫台帳-使用項目	特定の倉庫でロット、ロケーションを非表示にする場合は ON にします。 また、倉庫間入荷時のロットクリアを行う場合も ON にしてください。(Pro のみ)
システム運用	出荷引当	設定に従い出荷検品メニューを切り替えます。※Pro のみ
項目名	在庫状態 > 色	在庫状態の背景色が設定した色で表示されます。
表示	画像ポップアップ > サムネイル画像表示の初期条件	画像を表示する場合は「チェックあり」とします。
入力	品目バーコード読み取り > 標準検索項目	設定した項目が入力の初期状態となります。 ※モバイル機器での切替は可能
入力	QRコード現品票、独自バーコード	設定に従います。
入力	日付入力 > ロット 1、ロット 2	ロット 1・ロット 2 入力時に日付形式の整形や日付入力補助(ドラムロール式)、入荷日の自動入力を使用する場合に設定します。
モバイル設定	メニュー選択 > 各メニュー	使用するメニューを ON にします。
モバイル設定	使用項目 > ヘッダ	仕入先や出荷先の入力を行う場合は ON にします。OFF にするとヘッダ入力を自動でスキップして明細入力のみ行います。
モバイル設定	使用項目 > 明細	ロット 1、ロット 2、ロケーション項目を使用する場合は ON にします。

第2章 基本動作

モバイル設定	項目名	「品」は品目を特定するための入力項目、「L1」はロット1、「L2」はロット2です。全角1文字（半角2文字）の任意の文字に変更できます。
モバイル設定	入力ヒント > 数量詳細	数量詳細入力の入数/箱数/バラ数の入力ヒントに表示する内容を設定します。
モバイル設定	ロケーション初期値	入荷、出荷、棚卸でロケーションを都度入力するか、棚卸だけ前回入力値を初期値とするか、全ての入力で前回入力値を初期値とするかを設定します。
モバイル設定	入荷設定 > 検品対象	入荷検品時、作業対象の伝票を指定する際に「予定伝票番号」「元伝票番号」のいずれかを初期状態とするかを設定します。 ※Proのみ ※モバイル機器での切替は可能
モバイル設定	入荷設定 > 入荷検品 ENT 確定	入荷検品の流通コード、ロケーション、ロット1、ロット2、数量の入力時、ENT 押下で次の項目へ進む場合は ON に設定します。 ※Proのみ
モバイル設定	入荷設定 > 手動による検品済みを許可する	入荷検品で入荷予定数に達しなくても対象行を検品済みにする場合は ON に設定します。※Proのみ
モバイル設定	出荷設定 > 検品対象	出荷検品時、作業対象の伝票を指定する際に「指示/引当伝票番号」「元伝票番号」のいずれかを初期状態とするかを設定します。 ※Proのみ ※モバイル機器での切替は可能
モバイル設定	出荷設定 > 出荷検品 ENT 確定	出荷検品の流通コード、ロケーション、ロット1、ロット2、数量の入力時、ENT 押下で次の項目へ進む場合は ON に設定します。 ※Proのみ
モバイル設定	出荷設定 > 手動による検品済みを許可する	出荷検品で出荷指示数に達しなくても対象行を検品済みにする場合は ON に設定します。※Pro 仮引当のみ
モバイル設定	棚卸設定 > 在庫状態入力をスキップする	棚卸の在庫状態に入力を自動でスキップする場合は ON に設定します。
モバイル設定	棚卸設定 > 論理現品数を表示する	棚卸の論理現品数を表示したい場合は ON に設定します。
モバイル設定 (拡張)	キー取込時の処理 > 流通バーコード自動判定を有効にする	設定に従います。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > 読み取りシンボル	カメラ読み取りでの読み取りを許可するバーコード種別を設定します。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > UPC-A 先頭に"0"を付加する	UPC-A 読み取り時、先頭に0を付加する場合は ON に設定します。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > CODE39	CODE39 読み取り時にチェックデジットの照合を行うかどうかを設定します。

第2章 基本動作

		照合を行う場合、読み取りデータからチェックデジットを取り除くかどうかも指定します。
モバイル設定 (拡張)	直接取込時の処理 > Codabar(NW-7) スタートストップキャラクタを出力する	Codabar(NW-7)読み取り時、スタートストップキャラクタを出力する場合は ON に設定します。
モバイル設定 (拡張)	品目バーコード取込後 専用検索項目 の利用 > 各バーコードの種類	特定の種類のバーコードに対して、専用検索項目を利用する場合に設定します。 ITF/GS1 については GTIN-14 の梱包インジケータ違いを検索するかどうかも含めて指定します。
モバイル設定 (拡張)	品目バーコード取込後 標準検索項目 の自動切替 > 各バーコードの種類	特定の種類のバーコードに対して、標準検索項目を自動的に切り替える場合に設定します。
モバイル設定 (拡張)	注意メッセージ > 共通、入荷、出荷	注意メッセージ(共通/入荷/出荷)を表示するかどうかを設定します。
モバイル設定 (拡張)	カメラアイコン表示 > 数量	数量入力時のカメラアイコンを表示するかどうかを設定します。
モバイル設定 (拡張)	数量自動カウントアップ > 入荷実績、出荷実績	入荷実績、出荷実績で数量自動カウントアップを有効にするかどうかを設定します。 ※Pro、Lite のみ
モバイル設定 (拡張)	数量自動カウントアップ > 出荷検品	出荷検品で数量自動カウントアップを有効にするかどうかを設定します。 ※Pro のみ
モバイル設定 (拡張)	自動ログアウト > ログアウト時間	無操作の状態ですべて自動ログアウトするまでの時間を設定します。
モバイル設定 (拡張)	現品票発行 テンプレート設定	設定に従います。
モバイル設定 (拡張)	Android 向け設定 全体 > 半角英数記号 品目	HID スキャナーで誤読が発生する場合はこの設定を ON に設定すると誤読が改善する可能性があります。
モバイル設定 (拡張)	Android 向け設定 > モデル別設定	設定に従います。

[2] 品目台帳の画像設定

品目台帳の画像設定

品目台帳には画像1、2、3とサムネイル画像の4つの画像を設定できます。

画像が表示される画面として、主に入力画面と参照画面（品目選択と在庫参照）があります。

各画面で表示される画像は以下の優先順位に従います。

画像表示の優先順位
画像1 > 画像2 > 画像3 > サムネイル画像

ヒント！

本アプリケーションで画像を表示するには、品目台帳の画像設定のほかに、システム設定 > 表示 > [画像ポップアップ] の [サムネイル画像表示の初期条件] を「チェックあり」にする必要があります。

[3] 品目台帳の注意メッセージ設定

品目台帳には、注意メッセージ（共通、入荷、出荷、注意付き現品票の4種類）を設定できます。

注意メッセージ(共通、入荷、出荷)は、入力画面に以下の順で表示されます。

注意メッセージの表示順番
共通 > 入荷・出荷

注意付き現品票については、「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

ヒント！

本アプリケーションで注意メッセージを表示するには、品目台帳の注意メッセージ設定のほかに、システム設定 > モバイル設定（拡張） > [注意メッセージ] の [共通] [入荷] [出荷] を「チェックあり」にする必要があります。

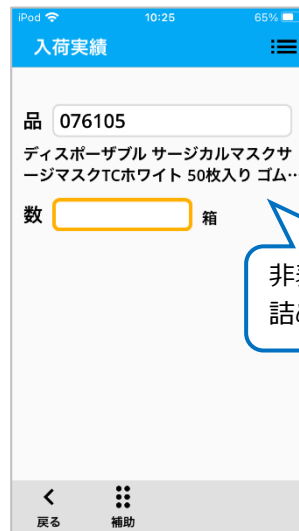
[4] 設定による画面変更

品目コード、ロット 1、ロット 2、ロケーション、注意メッセージを非表示とすると、対象項目より下に表示される項目はその分上に詰めて表示されます。また、画像が設定されていないと左側の項目の長さが伸び、品目名の行数が減ります。

○全項目表示の場合



○品目コード、ロット 1、ロット 2 非表示、画像なしの場合



[5] 設定によるヘッダ入カスキップ

入荷実績・入荷返品や出荷実績・出荷返品の場合、仕入先や出荷先を非表示にすると各メニューからヘッダ入カを自動でスキップして明細入力画面を表示します。

仕入先や出荷先を入力しない運用の場合は、非表示にすることをお勧めします。

○入荷実績-仕入先 表示の場合



○入荷実績-仕入先 非表示の場合



ヒント！

仕入先や出荷先を非表示にするには、システム設定＞モバイル設定＞ [使用項目] - [ヘッダ] で各メニューを OFF にしてください。

[6] 音量設定

本アプリでは読み取り時などに音を鳴らします。

Android アプリの音量は以下の方法で調整できます。

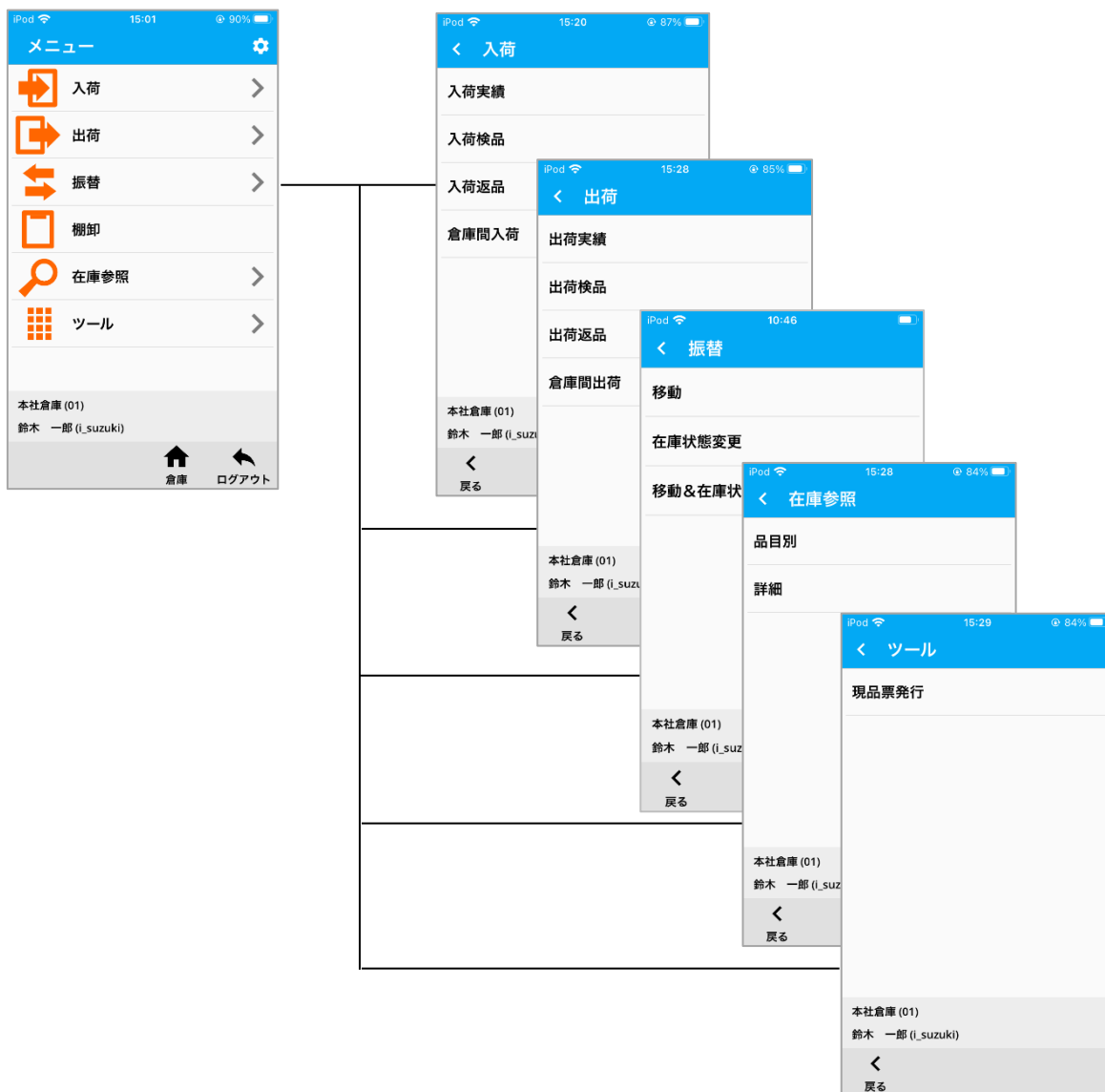
OSの種類	音量の調整方法
Android	設定 > 音 > メディアの音量

2-3 メニュー

本アプリケーションでは、メニューを選択することにより各作業を行います。

[1] 各作業とメニュー

入荷、出荷、振替、在庫参照、ツールは、二階層メニューとなっています。



※ハードキーのあるデバイスの場合、上下キー・ENT キーでメニューの選択が可能です。

※上記は全機能を利用した場合のメニューです。エディションやシステム設定により表示されないメニューがあります。

[2] フッターメニュー

フッターメニューが表示されている場合はタップすることで各機能が使用できます。
ファンクションキーのあるデバイスでは F1～F4 キー押下でも同様の操作が可能です。



2-4 データ入力

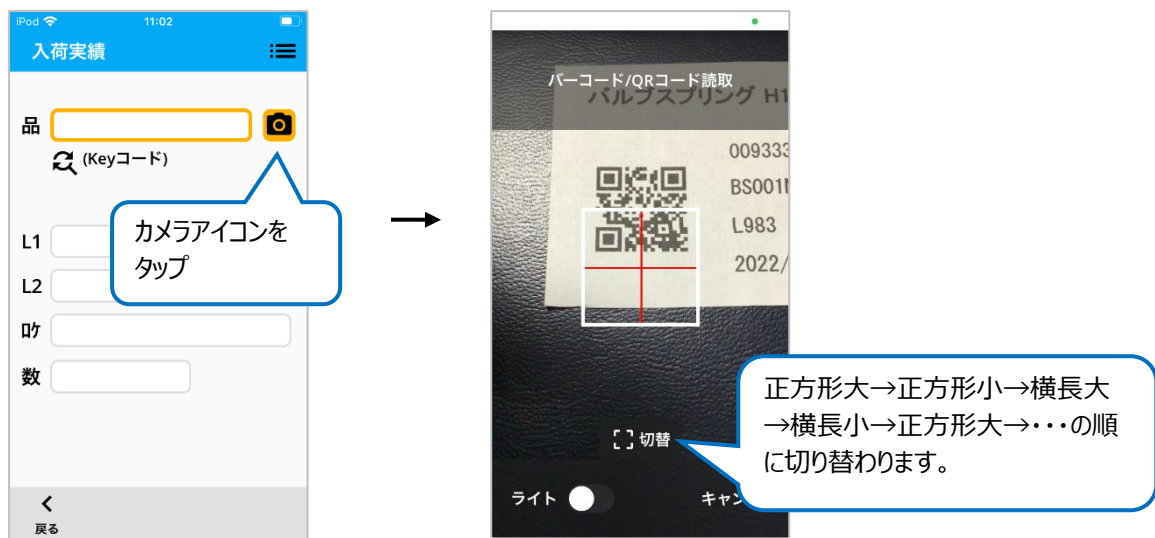
データの入力方法は、バーコード/QRコード入力と手入力の2通りの入力方法があります。

[1] バーコード/QRコードのカメラ読み取り

入力欄の右側にあるカメラアイコンをタップすることで内蔵カメラによるバーコード読み取りが起動します。

読み取り画面では[切替]ボタンをタップすると読み取り範囲が切り替わります。

読み取り範囲は Key コード/ロット 1・2/ロケーションなどの項目ごとに記憶します。



[2] マニュアル入力

ハードキーまたはソフトキーボードを使ってデータを入力することも可能です。キーを使った入力をマニュアル入力と呼びます。

入力方法は、各デバイスやソフトキーボードの仕様に従います。

マニュアル入力は以下の場合などで用いられます。

- ・数量入力など、バーコード／QRコードが用意されていないデータ入力の場合
- ・汚れやキズ等の理由でバーコードを読み取れない場合

[3] カメラアイコン表示の設定

設定は、全体設定と、デバイスのモデル名称による個別設定があります。

- ・全体設定は必ず設定する必要があります。
全デバイスを対象に、数量入力欄のカメラアイコンの表示/非表示を設定できます。
なお、初期値は非表示です。
(数量以外の入力欄は表示扱い)
- ・デバイスのモデル名称による個別設定は必要に応じて設定します。
非表示に設定すると、全ての入力欄が非表示となります。

いずれかの設定で非表示ならば、カメラアイコンは非表示となります。


	全体設定（数量欄のみ）	デバイスモデル名称による個別設定（全入力欄）
設定の必要性	あり	任意
設定箇所	・システム設定＞モバイル（拡張）タブ ＞[カメラアイコン表示]-[数量]	・システム設定＞モバイル（拡張）タブ＞ [Android 端末 動作設定]-[カメラアイコンの表示]

[4] 2つのバーコード取込方式

本アプリケーションでバーコードを扱うには「カメラ読み取り」のほかに、「HID スキャナー読み取り」や「ハンディターミナル読み取り」があります。

カメラ読み取りは、本アプリケーションがバーコードを読み取っています。
取込方式は「直接取込」です。
読み取りに関する設定も在庫スイートクラウド側で行います。

HID スキャナーやハンディターミナルは、それぞれのデバイスがバーコードを読み取ります。
読み取った内容は、外付けキーボードと同様にキー入力として扱われます。
これらの取込方式は「キー取込」です。
読み取りに関する設定も HID スキャナーやハンディターミナルに依存します。

	直接取込	キー取込
読み取り方法	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ読み取り 	<ul style="list-style-type: none"> ・HID スキャナーでの読み取り ・ハンディターミナルでの読み取り  

[5] 入力時の台帳参照

品目・出荷先・仕入先・担当者（ユーザ）・ロケーション・倉庫・理由のコード入力時、入力したコードと台帳の内容を照会して、存在すれば名称を表示します。

（ロケーションは台帳の内容との照会のみ行います。）

台帳に存在しないコードであれば、エラーを表示します。

[6] 入力のスキップ

マニュアル入力した場合、入力内容は ENT キー押下で確定されます。

スキップ可能な項目の場合は、データ未入力状態で ENT キーを押下するとスキップして、カーソルが次の項目に移動します。

また、スキップ可能な入力項目では [SKIP] ボタンが現れます。[SKIP] ボタンをタップしても同様の動作となります。

[7] HID スキャナーの注意点

Bluetoothなどで通信する HID スキャナーは外付けキーボードと同じ扱いです。

読み取るとハードウェアや OS でキーボードデータとして扱われます。

そうした点では、本アプリでの利用は可能です。

但し、HID の特性から文字化けや文字欠けが発生する場合があります。

文字間ウエイトを入れることで発生頻度は減らせますが、発生しないようになる保証はありません。

そうしたリスクがあることを認識の上、ご利用ください。

ヒント！

ロットなど台帳検索のない項目の入力では、何もチェックされず登録されます。

特にご注意ください。

2-5 実績入力でのヘッダ項目の追加と削除

[1] ヘッダ項目の追加と削除

入荷実績・入荷返品や出荷実績・出荷返品・倉庫間出荷では、ヘッダ項目の追加と削除が可能です。「+」と「-」ボタンで使用することで各項目の追加と削除ができます。

○ヘッダ項目の追加と削除




ヒント！

各メニューで使用したヘッダ項目は、端末ごとに保存します。
毎回「+」ボタンを押す必要はありません。

2-6 仕入先、出荷先、直送先の入力

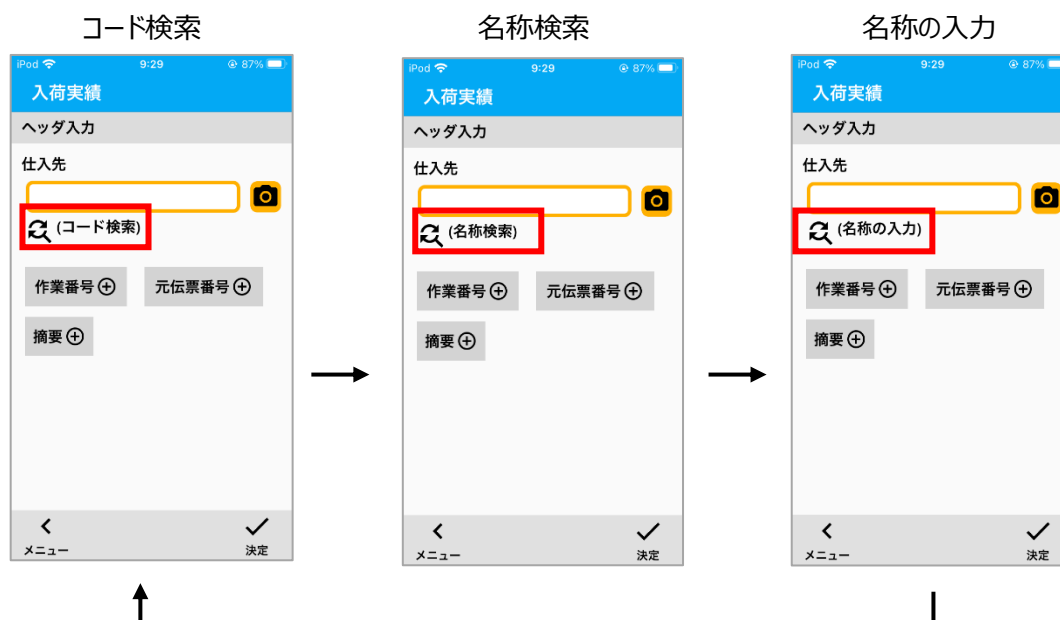
[1] 仕入先、出荷先、直送先の手動切替

入力欄下の  (またはその横の文字) をタップすると一時的に「名称検索」・「名称の入力」に切り替えが可能です。

「コード検索」・「名称検索」では、入力した内容を使用して台帳を検索し、該当する情報を呼び出します。

一方、「名称の入力」では、台帳を検索せず、入力された内容が名称欄に記録されます。

○コード検索からの入力切替



ヒント!

コード検索は完全一致、名称検索は一部一致で検索します。

[2] 検索が複数ヒットした場合

名称検索の場合、複数の候補がヒットすることがあります。
その時は、選択画面が表示されますので、該当の候補をタップし決定します。

○仕入先の選択画面



2-7 品目の入力

[1] 設定別の品目入力

在庫スイートクラウドでは、品目を特定するコードは Key コードですが、Key コードが直接バーコード化されている運用の他に、品目コードがバーコード化されている運用にも対応します。

品目を特定するバーコードを読んだ際の（標準的な）検索対象が Key コードなのか品目コードなのかは、システム設定の「標準検索項目」に従います。

<Key コード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合は「Key コード」入力待ち運用となります。

- ・システム運用タブの使用項目で「品目コード」が OFF
- ・システム運用タブの使用項目で「品目コード」が ON で、入力タブの品目バーコード読み取りで「標準検索項目」が「Key コード」



第2章 基本動作

<品目コード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合は〔品目コード〕入力待ち運用します。


- ・システム運用タブの使用項目で〔品目コード〕がONで、入力タブの品目バーコード読み取りで〔標準検索項目〕が「品目コード」



ヒント！

各画面に表示される品目名は、品目台帳の略称が設定されていれば略称、設定されていなければ品目名1 + 半角スペース + 品目名2を表示します。

[2] 標準検索項目の手動切替

Key コード入力待ち運用において、入力欄下の （またはその横の文字）をタップすることで一時的に品目コードや品目名入力待ちに切り替えることができます。

逆に、品目コード入力待ち運用において、一時的に品目名や Key コード入力待ちに切り替えることができます。

なお、Key コードと品目コードは完全一致、品目名は一部一致で検索します。

<コード切替での入力イメージ>



ヒント！

独自バーコードと QR コード現品票、自動切替が設定されている種類のバーコード、専用検索項目が ON の場合は、本アプリが Key コード入力待ちか品目コード入力待ちかには関わらず、仕様またはシステム設定に従った項目で検索します。

なお、品目名入力待ちの場合はいずれも品目名として検索されます。

ヒント！

品目名はスペースを空けて複数のキーワードを指定することで AND 検索が可能です。

ヒント！

出荷検品(本引当)は、品目名検索での入力はできません。

[3] 標準検索項目の自動切替

システム設定により、バーコードの種類で検索項目を自動的に切り替えることができます。
設定されたバーコードの種類を読み取った際は、本アプリが Key コード入力待ちか、品目コード入力待ちかに関わらず、システム設定で指定された項目で検索します。

ヒント！

自動切替は、バーコード種別が認識できる場合のみ利用できます。

[4] 流通バーコードと専用検索項目

専用検索項目を利用すれば、同一品目に複数の JAN コードが存在する場合や、ITF/GS1 (GTIN-14)で複数の梱包インジケータが存在する場合など流通バーコードに対して、より複雑な検索にも対応できます。

各品目に JAN/UPC を最大 3 つ、ITF/GS1(GTIN-14)を最大 3 つ登録でき、それぞれに入数が設定できます。

ハンディターミナルやスマートフォンでは、読み取った際にバーコード種別を識別し、専用項目を検索します。

<標準検索項目>

- ・Key コード
- ・品目コード
- ※PCでも検索可能

<専用検索項目>

- ・JAN/UPC 1～3
- ・ITF/GS1(GTIN-14) 1～3
- ※マルチデバイスオプションのみ利用可

ヒント！

専用項目を使用する場合は、システム設定> モバイル設定(拡張)> [品目台帳-JAN/UPC] または[品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)]を ON に設定してください。

ヒント！

JAN/UPC の場合は、専用項目のほかに標準項目もあわせて検索します。
また、GS1 の読み取りについては「2 - 1 4 GS1-128/GS1 Databar について」をご覧ください。

ヒント！

ITF/GS1(GTIN-14)の場合、システム設定 [品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)] と共に [インジケータ違いも検索する] を ON にすることで、読み取った GTIN-14 に一致する品目が無かった際に異なる梱包インジケータの品目も検索することができます。(入数は無しになります)

例：GTIN-14「04912345123459」を読み取ったが、品目台帳の ITF/GS1(GTIN-14) 1～3 には登録されていない

⇒ 梱包インジケータ(先頭文字)が 0 以外のものを検索し、「14912345123456」の品目がヒット

ヒント！

ハンディターミナルでの読み取りやスマートフォンの HID スキャナー経由での入力はキーボード扱いとなります。

バーコード種別の自動識別を行いたい場合は、システム設定>モバイル設定(拡張)> [流通バーコード自動判定] を ON に設定してください。

[5] 検索が複数ヒットした場合

品目コード、品目名、専用検索項目を読み取った場合は複数の品目がヒットすることがあります。その時は、品目選択画面が表示されますので、該当のアイテムをタップし決定します。

<品目選択画面イメージ>



2-8 ロケーション・ロット入力有無の設定

[1] ロケーション入力の設定

設定は全体設定と、倉庫毎の設定があります。

全体設定は必ず設定する必要があります。

倉庫毎の設定は必要に応じて設定します。

いずれかの設定で OFF ならば、ロケーション入力は OFF となります。

	全体設定	倉庫毎の設定
設定の必要性	あり	任意
設定箇所	・システム設定> モバイルタブ 使用項目	・システム設定> システム運用タブ [倉庫台帳-使用項目]を有効 ・倉庫台帳の使用項目

[2] ロット入力の設定

設定は全体設定と、倉庫毎の設定、品目毎の設定があります。

全体設定は必ず設定する必要があります。

倉庫毎の設定と品目毎の設定は必要に応じて設定します。

いずれかの設定で OFF ならば、ロット入力は OFF となります。

	全体設定	倉庫毎の設定	品目毎の設定
設定の必要性	あり	任意	任意
設定箇所	・システム設定 > モバイルタブ 使用項目	・システム設定 > システム運用タブ [倉庫台帳-使用項目] を有効 ・倉庫台帳の使用項目	・システム設定 > システム運用タブ [品目台帳-ロット入力]を有効 ・品目台帳のロット1 入力、 ロット2 入力

2-9 ロケーションの入力

[1] ロケーション初期値

システム設定により、前回入力値を初期値としてセットすることが可能です。
同じロケーションを繰り返し入力することが多い場合に便利です。
セットする場合は、棚卸のみ／全てどちらを選択します。

システム設定

システム運用 項目名 表示 入力 帳票 **モバイル** モバイル(拡張) 権限

ハッタ

入荷実績 入荷返品

出荷実績 出荷返品

明細

ロット1 ロット2 ロケーション

項目名

品 L1 L2

ロケーション初期値

なし 前回入力値(棚卸のみ) 前回入力値(全て)

入荷設定

[2] 棚卸のロケーション入力

棚卸のロケーション入力は、システム設定によるロケーション初期値のほかに、入力画面での入力設定があります。

入力画面の入力設定は

- ・ 都度入力
- ・ 前回入力値の自動入力


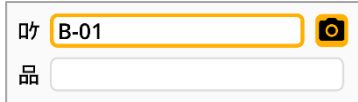
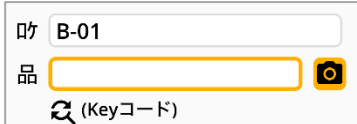
のいずれかを設定します。

ロケーション入力待ち状態で、フッターに表示される「ロケ入力」をタップすることで切り替えることができます。

システム設定によるロケーション初期値と、入力画面の入力設定により、ロケーション入力は以下の様になります。



<設定毎のロケーション入力動作>

システム設定 入力画面の 入力設定	初期値 = なし	初期値 = 前回入力値
都度入力	ロケーション入力待ち（初期値 = なし）。 	ロケーション入力待ち（初期値 = 前回入力値）。初期値で良ければ「スキップ」をタップ。 
前回値の自動入力	前回入力値でロケーションが自動入力。 ロケーションを変更したい場合は「戻る」をタップし、ロケーションを入力。 	

2-10 ロットの入力

[1] 項目の表示

ロット1とロット2項目は、入力欄左の本オプション用の項目表示（全角1桁／半角2桁）の他に、カーソルが移動すると、入力ヒントに項目名が表示されます。



[2] 日付形式の整形

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を「YYYY/MM/DD」「YYYY/MM」「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれかに設定すると、ロット入力時に指定の形式に自動整形されます。

例：“20201125”を入力 → “2020/11/25”に整形

ヒント！

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を「YYYY/MM/DD」、用途を「使用期限」に設定した場合、ロットに年月形式の値を入力するとその月の末日を付加して自動整形されます。

例：“202011”を入力 → “2020/11/30”に整形

ヒント！

現品票 QR コードや独自バーコード、GS1-128/GS1 Databar の読み取りについても、ロットの情報が含まれている場合は指定の形式に自動整形されます。

[3] 日付入力補助

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの形式を設定(「なし」以外)した場合、ロット入力時に日付入力補助機能を使用できます。



[4] 入荷日自動入力

システム設定> 入力> 入力補助> 日付入力 にて、ロットの用途を「入荷日」に設定した場合、入荷実績・入荷検品・現品票発行(QRコード)で対象ロットに当日の日付が自動入力されます。

ただし、QRコード読み取り時や在庫転記時などのロットがセットされる操作を行った場合は、そのデータが優先的にセットされます。

また、入荷検品では、入荷予定で指定されているロットが自動入力される日付と一致している場合のみ自動入力され、一致していない場合は対象ロットの入力が必要となります。

2-1-1 在庫状態の入力

[1] 在庫状態入力の必要性

本サービスは状態別での在庫管理が可能です。

ノーマルな入荷（入荷実績、入荷検品）、出荷（出荷実績、出荷検品）は、在庫状態を指定する／しないを設定できます。

その他のメニューでは在庫状態を指定します。

ヒント！

通常の入出荷で「通常品」以外の在庫を扱う場合は、在庫状態の明細入力＝ありで運用します。

[2] 在庫状態の自動入力と変更

<管理中在庫に対する処理（出荷検品、棚卸を除く）>

「入荷返品」「移動」「在庫状態変更」「倉庫間出荷」「出荷実績」は管理している在庫に対する処理です。

在庫状態の入力前に入力している情報（品目、ロット、ロケーション）から PC 在庫を検索し、その結果により動作が異なります。

既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
ヒットせず	カーソルは在庫状態、 初期値「通常品」。	全ての在庫状態
1つの在庫状態だけヒット	該当の在庫状態を自動入力し 次に進む。	ヒットした在庫状態
複数の在庫状態がヒット	ヒットしたうち優先順位の高いも のを自動入力し次に進む。	

※優先順位：通常品> 不良品> 修理中> 確保> 状態 4> 状態 5> …> 状態 9

<管理外在庫に対する処理>

「出荷返品」は管理外の在庫に対する処理です。なお、「入荷実績」「入荷検品」は設定に従います。

既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	カーソルは在庫状態、 初期値「通常品」。	全ての在庫状態

第2章 基本動作

<出荷検品に対する処理>

「出荷検品」は管理している在庫に対する処理です。

「出荷指示」では、在庫状態を必ず指定する必要があります。

そのため、「出荷検品」では、指示と同じ在庫状態のみを入力することができます。


既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	SKIP で次の項目へ進む。	—

<棚卸に対する処理>

「棚卸」は管理している在庫に対する処理です。

既に入力している情報での 在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	「通常品」を自動入力し次に進む。	全ての在庫状態

[3] 在庫状態入力操作

右側にある  アイコンをタップすると在庫状態を変更できます。



変更
↙ ↘
キャンセル



SKIP
(変更なし) ↓ ↑ 戻る

状態を選択し
次に進む



2-12 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力

[1] 入力時の在庫参照とその活用法

入荷実績や入荷検品を登録する際、品目を入力すると、その品目の在庫情報を確認することが出来ます。[在庫] ボタンのタップでロケーションやロット、在庫状態別の在庫が一覧表示されます。

入荷実績

品 009331011A
SB001NS001
シリンダーブロック
FJ4-1

L1

L2

ロケ

数 個

戻る 在庫 日付入力 SKIP

入荷の際、現在の置き場所が確認できます。

以下の例は、

- ・ロット 1=L0039、ロケーション=B-02 に 72 個、
 - ・ロット 1=L0043、ロケーション=A-01 に 1,200 個、
 - ・ロット 1=L0043、ロケーション B-02 に 800 個
- 同じ品目なるべく同じ場所に保管する運用に役立ちます。

在庫参照 (詳細) 3件

01:本社倉庫
009331011A
SB001NS001
シリンダーブロック
FJ4-1

ロット 1 ロケーション	ロット 2 数量	状態
L0039 B-02	72 個	通常品
L0043 A-01	1,200 個	通常品
L0043 B-02	800 個	通常品

戻る 数量切替 転記

入荷実績

品 009331011A
SB001NS001
シリンダーブロック
FJ4-1

L1

L2

ロケ

数 個

戻る 補助

転記

なお、在庫参照画面で表示される数量は「現品数」です。
また、推奨ロケーションの場合は、ロケーションの背景が赤となります。

タップ等で該当在庫を選択し、[転記] ボタンをタップすることで元画面に転記入力も出来ます。
ロット 1、2 やロケーションなど、数量以外の全ての情報を一括で転記入力されますので、既に在庫されているものと同じ情報を入力する際にご利用下さい。(*1) (*2)

第2章 基本動作

- *1・・・振替・移動及び移動&在庫状態変更では、送り先ロケーション入力で在庫転記を行うとロケーションのみ転記されます。
- *2・・・出荷実績・入荷返品・移動・在庫状態変更では、在庫を転記すると数量入力時に在庫の数量を初期表示します。必要に応じて数量の変更が可能です。



ヒント！

在庫の数量は全選択された状態で初期表示されます。

変更する場合は表示された数量をクリアしなくても、そのまま入力することで数量が上書き入力されます。

[2] 推奨ロケーションの表示と入力

同じ品目は、出来るだけ同じ場所に保管する運用では、在庫スイートクラウドの「品目台帳」に推奨ロケーションを設定しておくこと更に便利です。

品目入力後、ロケーション欄にカーソルが移動すると、入力ヒントに推奨ロケーションが表示されます。また、ロケーション入力時に [推奨ロケ] ボタンをタップすると自動的に推奨ロケーションが入力されます。表示されたロケーションに沿って在庫を保管することでモノの分散を防ぐことができます。



所定の置き場所（推奨ロケーション）が一杯で置けなかった場合は、別のロケーションに保管します。その際は、実際に保管したロケーションを入力してください。

ヒント！

推奨ロケーションや [推奨ロケ] ボタンは、ログイン倉庫（対象の倉庫）に対して該当品目に推奨ロケーションが設定されている場合のみ表示されます。

2-13 QRコード現品票とバーコード現品票

[1] QRコード現品票

「在庫スイートクラウド」では、独自の QR コード現品票を発行できます。

QR コード現品票には、バーコード・品目コード・品目名・ロット1・2・数量といった情報が盛り込まれています。「品」にカーソルがある状態で、QR コード現品票を読み込むと、これらの情報が一括で入力されます。

<QRコード現品票の入力イメージ>



数量が初期表示されている場合は、ENTキー押下で表示の数量が入力されます。

ヒント！

QRコード現品票を読み込むには、システム設定> 入力> [QRコード現品票]をONに設定してください。

上記の設定がOFFの場合やQRコード現品票のフォーマットと異なるQRコードを読み込んだ場合、読み込んだ内容がそのまま入力されます。

[2] ロット1、ロット2非表示時

ロット1、またはロット2を非表示で運用している際、非表示項目にデータがセットされているQRコード現品票を読み取るとエラーとなります。

2-14 GS1-128/GS1 Databar について

[1] GS1-128/GS1 Databar の読み取り

「在庫スイートクラウド」では、GS1-128/GS1 Databar の読み取りに対応しています。GS1-128/GS1 Databar には、GTIN-14・有効期限・ロット・シリアル・数量などの情報が含まれています。「品」にカーソルがある状態で、GS1-128/GS1 Databar を読み込むと、これらの情報が一括で入力されます。

<GS1-128/GS1 Databar の入力イメージ>



数量が初期表示されている場合は、ENT キー押下で表示の数量が入力されます。

ヒント！

読み取り対象の GS1 アプリケーション識別子については「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

[2] GS1-128 の2段バーコード読み取り

マルチデバイスオプションでは GS1-128 の2段バーコード読み取りに対応しています。

1段目と2段目のバーコードを連続で読み取ると、GS1-128 の情報が一括で入力されます。

<GS1-128 2段バーコードの入カイメージ>



ヒント！

読み取り可能な GS1-128 の2段バーコードの条件については「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください。

2-15 数量のキー入力

[1] 数量入力とソフトウェアキーボード

数量入力欄にカーソルが移動した際、通常はソフトウェアキーボードが自動的に起動します。

テンキーのあるデバイスで操作しやすいように、システム設定でソフトウェアキーボードの自動起動を OFF にすることも可能です。



ヒント！

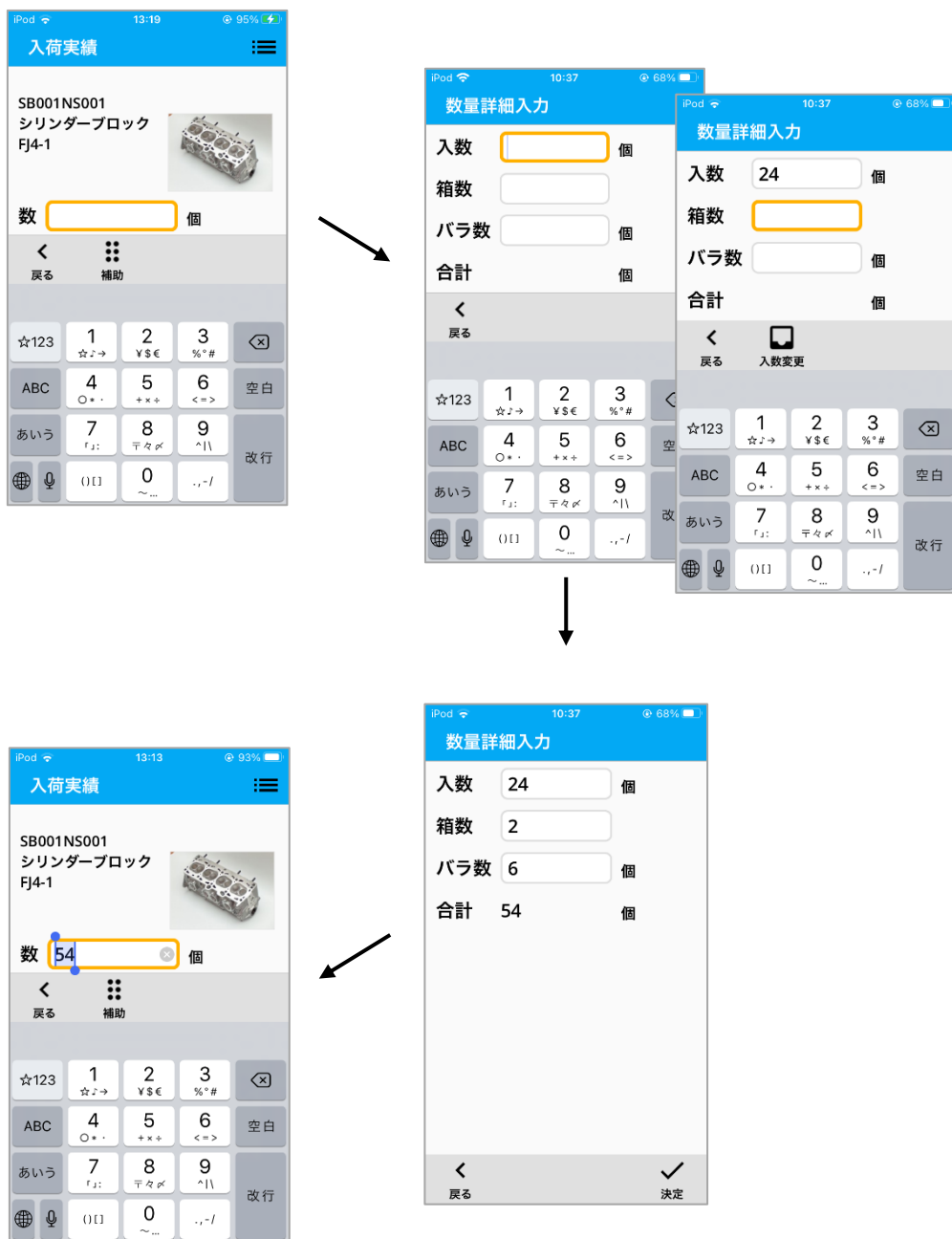
システム設定> モバイル(拡張)> [Android 端末 動作設定]の[数量入力ソフトウェアキー自動起動]で ON/OFF の設定が可能です。

[2] 数量の補助入力

数量入力で「補助」ボタンをタップすると数量詳細入力画面となり、入数、箱数、バラ数を入力すると、 $\text{入数} \times \text{箱数} + \text{バラ数}$ を計算します。

システム設定により、入数、箱数、バラ数の入力欄に任意の文字を入力ヒントとして表示することができます。

品目台帳に入数が設定されている場合は、入数が既に設定されている状態で画面が表示されます。その際、「入数変更」ボタンをタップすると入数を変更する事ができます。



2-16 数量の自動カウントアップ

セルフレジのようにアイテムについてのバーコードや JAN コードを読み取ることで、アイテムが入力されつつ数量も加算される機能です。

なお、ロット管理を行う場合や、状態を指定する必要のある返品・振替・倉庫間出荷メニューでは使用できません。

[1] 入荷実績・出荷実績

入荷実績・出荷実績では、システム設定> モバイル(拡張)> 数量自動カウントアップ [入荷実績・出荷実績]を ON にすると、品目の連続入力で数量の自動カウントアップが可能となります。

入数が設定されている場合は入数、それ以外は 1 を合計数に加算します。

(詳しくは、[3] 加算する数量について 参照)

また、品目を入力後 [数量入力]をタップして加算する数量の入力や合計数を上書きすることも可能です。

[登録]をタップすると、伝票登録を行います。

※明細の最大登録件数は 300 件となります。

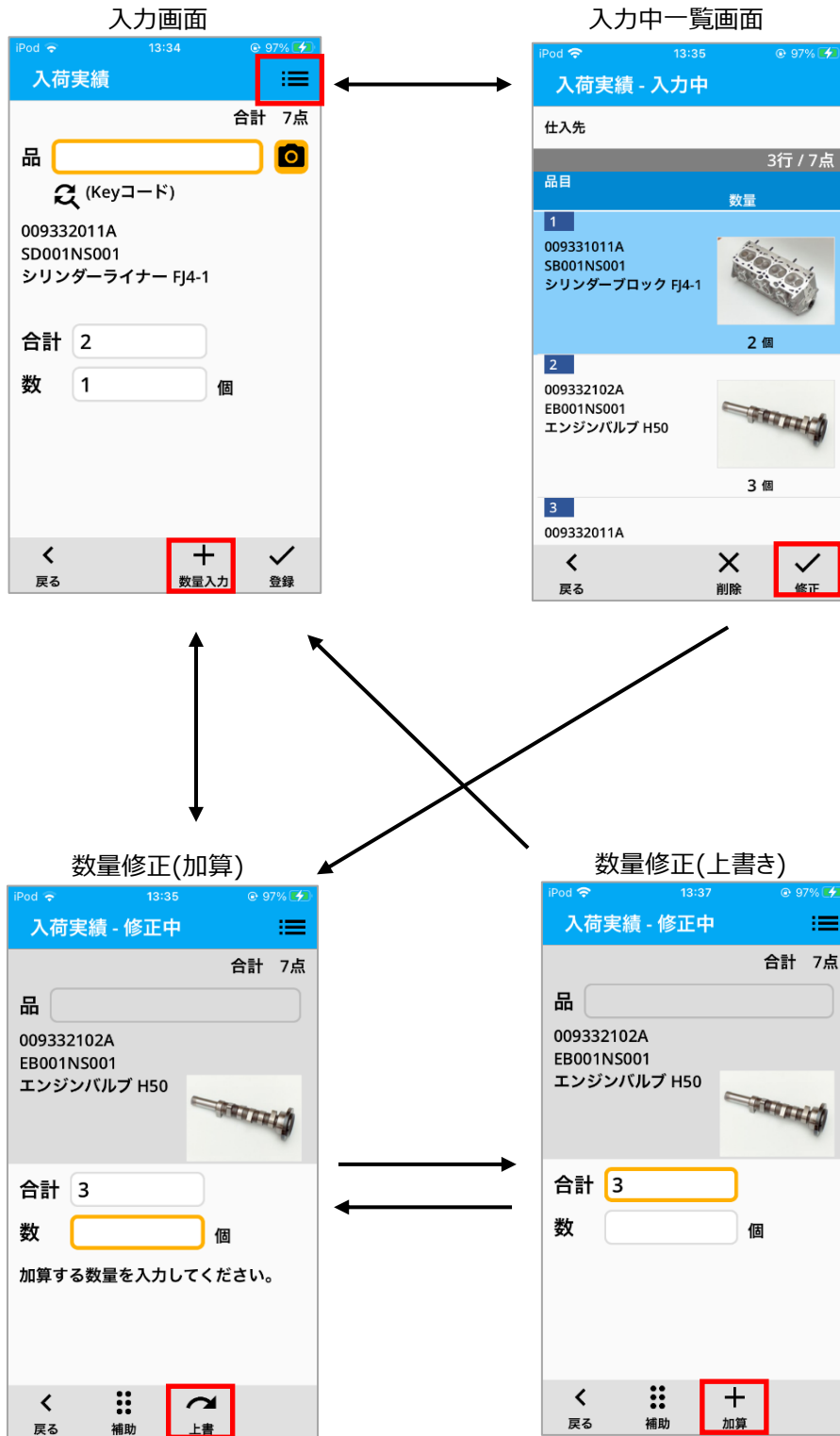
品目によらず
これまで入力した合計の
点数を表示します。

「合計数」には入力中の
品目の合計数
「数量」には入力した数量
が表示されます。

別の品目も続けて入力可
可能です。

第2章 基本動作

入荷実績・出荷実績の数量自動カウントアップがONの場合、入力中の明細情報を確認できます。品目を入力後、右上のアイコンをタップすると、入力中画面が表示されます。明細を選択して、明細の修正(数量のみ)や削除が可能です。



[2] 出荷検品

出荷検品では、システム設定> モバイル(拡張)> 数量自動カウントアップ [出荷検品]を ON にすると、同じ品目の連続入力で数量の自動カウントアップが可能となります。

入数が設定されている場合は入数、それ以外は 1 を合計数に加算します。

(詳しくは、[3] 加算する数量について 参照)

また、一度品目を入力後 [数量入力]をタップして加算する数量を入力することも可能です。

合計数が指示数に達すると、明細が検品済となります。

(出荷検品について詳しくは、2-19 入荷検品・出荷検品 (仮引当) の操作 または 2-20 出荷検品 (本引当) の操作 参照)



[3] 加算する数量について

数量自動カウントアップの場合、Key コードや品目コードを入力すると、品目台帳の入数の設定によらず基本的には「1」が合計数に加算されます。以下の場合に入数に加算されます。

(1) 特殊品目バーコード

システム設定> 入力> [QRコード現品票]・[独自バーコード]をONにした場合、QRコード現品票・独自バーコードを読み取ると、各バーコードに含まれている以下の入数に加算されます。

※バーコードに入数が含まれていなければ「1」が加算されます。

特殊品目バーコード	入数
QRコード現品票	ラベル入数
独自バーコード	数量

(2) 専用検索項目

システム設定> モバイル(拡張)> [品目台帳-JAN/UPC]・[品目台帳-ITF/GS1(GTIN14)]をONにした場合、以下のバーコード種別のバーコードを読み取ると設定した入数に加算されます。

※入数が設定されていない場合は「1」が加算されます。

バーコード種別	入数
JAN/UPC	品目台帳- JAN/UPC コード 1～3 入数
ITF	品目台帳- ITF/ GS1(GTIN-14)コード 1～3 入数
GS1(GTIN-14)	GS1 に数量が含まれる場合は数量、それ以外は品目台帳- ITF/GS1(GTIN-14) コード 1～3 入数

2-17 入力中の実績データの確認・修正・削除

[1] 入力内容の確認方法

入荷実績、入荷返品、出荷実績、出荷返品、倉庫間出荷、移動、在庫状態変更では、入力中の伝票内容を確認できます。

明細入力画面の右上のアイコンをタップすると、入力中画面が表示され、内容を確認することができます。(最大 300 行まで表示)

○入力内容の確認手順



ヒント！

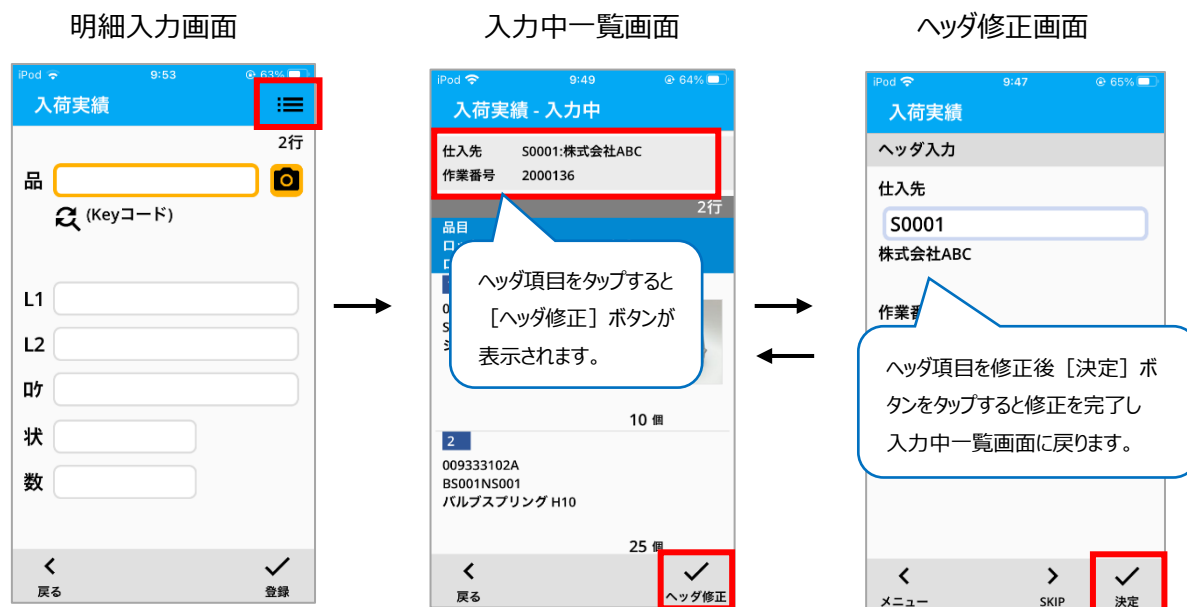
品目入力画面の明細件数は、1 明細目を入力すると画面右上に表示されます。

[2] ヘッダの修正

入力中一覧画面から入力途中のヘッダ項目を修正ができます。

明細入力画面の右上のアイコンをタップし、入力中画面のヘッダをタップ後、「ヘッダ修正」ボタンから修正します。

○ヘッダ項目の修正手順



ヒント！

システム設定> モバイル> [使用項目] - [ヘッダ] を OFF にしたメニューは、ヘッダ項目の入力が無い為、[ヘッダ修正] ボタンは表示されません。

ヒント！

「移動」「在庫状態変更」は、ヘッダ項目の入力が無い為、[ヘッダ修正] ボタンは表示されません。

[3] 明細の削除・修正

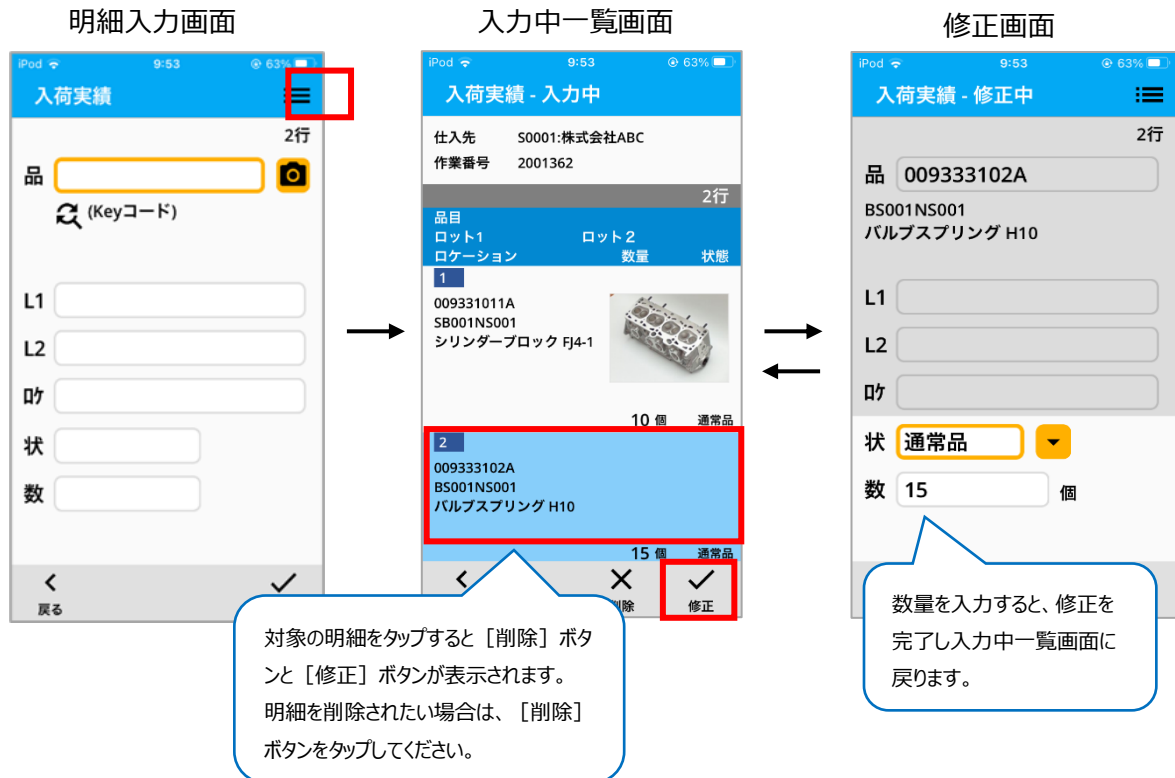
入力中一覧画面から明細内容を削除・修正ができます。

明細の修正は、「在庫状態*1」と「数量」が可能です。

なお、「移動」はロケーションの修正もできます。

*1 在庫状態は、システム設定の在庫状態の明細入力が ON の場合に入力できます。


○明細内容の手順修正



ヒント！

修正画面で修正できない項目は、対象明細を削除後、正しい内容を入力し直します。

ヒント！

移動、在庫状態変更の場合は、1 明細以上を入力すると画面の右上に  が表示されます。

2-18 実績データの登録

[1] 実績伝票の登録と破棄

入荷実績、出荷実績、移動、在庫状態変更では、品目と数量を入力した状態では、まだ登録されていません。

1件以上入力すると、[登録] ボタンが表示されます。[登録] ボタンをタップすることにより入力した情報が登録されます。

1件以上入力した後、登録せずに[戻る] ボタンをタップした場合は、破棄の警告メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと、登録せずにヘッダ情報入力画面に戻ります。



[2] 伝票日付と登録日時

伝票日付、伝票登録日時とも登録を完了したタイミングより決定します。サーバー側の時刻により決まり、モバイル機器がもつ時計機能には依存しません。

[2] 検品作業

作業すべき入荷予定伝票が決定すると、品目などの明細入力待ちとなります。
入力順は特に問いません。

明細を入力し、対象の入荷予定明細行が決定すると、入荷予定に指示されている項目（数量は除く）の背景色が青くなります。青くなった項目は指示と一致しないとエラーとなります。

数量を入力すると、入荷検品伝票に登録されます。

- 予定数(または残数)と数量が一致すれば該当の入荷予定明細行は処理済となります。
- 数量が予定数(または残数)に満たない場合は、更に入力が可能です。その場合、残数(=予定数 - 実績合計数)が表示されます。システム設定により、モバイル機器側の操作で処理済みとすることも可能です。
- 数量が予定数(または残数)を超える場合は、登録前に警告が表示されます。強制入力すると該当の入荷予定明細行は処理済となります。

[3] 検品の登録

入荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに入荷検品伝票に登録されています。

<未着手の入荷予定伝票のイメージ>

入荷予定伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	

作業状態 = 「未作業」です。



<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2		明細 3	処理済
明細 3	処理済		

リアルタイムに入荷検品伝票に登録され、在庫計上されます。

作業状態 = 「一部済」となります。



<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2	処理済	明細 3	処理済
明細 3	処理済	明細 2 - 1	処理済
		明細 2 - 2	処理済

入荷予定伝票の内容が全て処理済となると、作業状態 = 「完了」となります。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、実績は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の入荷予定伝票や入荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での入荷検品

同じ入荷予定伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、入荷予定伝票番号または元伝票番号を入力して作業を行います。同一日付の作業であれば同じ入荷検品伝票に追記されます。

2-20 出荷検品（本引当）の操作

[1] 対象伝票の指定方法

モバイル機器の出荷検品は、在庫スイートクラウド Pro で引き当てられた結果＝「出荷引当伝票」に沿って作業を行います。最初にどの出荷引当伝票の作業を行うのかをモバイル機器で指定しますが、その方法として3通りあります。

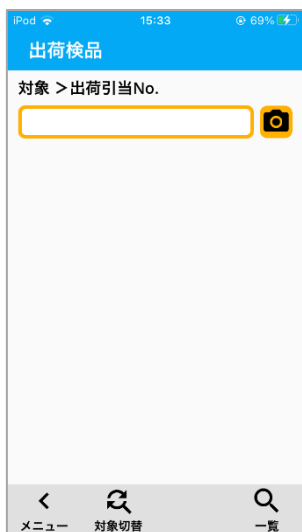
1つは、在庫スイートクラウド Pro から発行するピッキングリストのバーコード（＝出荷引当伝票番号）を読み取る方法。2つ目は、納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する方法。これらはシステム設定により、初期状態としてどちらのデータの入力待ちかを設定できます。また、一時的に切り替えることも可能です。

最後は、何も入力せず ENT キー押下または「一覧」ボタンをタップで、作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定する方法です。

<ピッキングリスト入力待ち状態の画面>

システム設定が

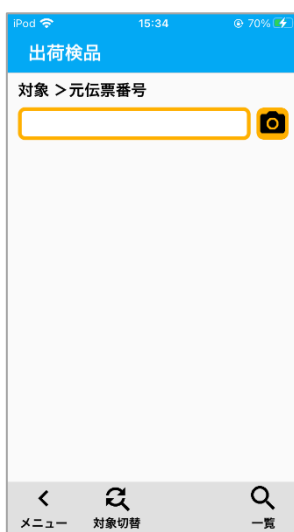
「検品対象」＝引当伝票番号



<元伝票番号入力待ち状態の読み取り画面>

システム設定が

「検品対象」＝元伝票番号



第2章 基本動作

<空 ENT/「一覧」ボタン押下で出荷引当伝票呼び出し>



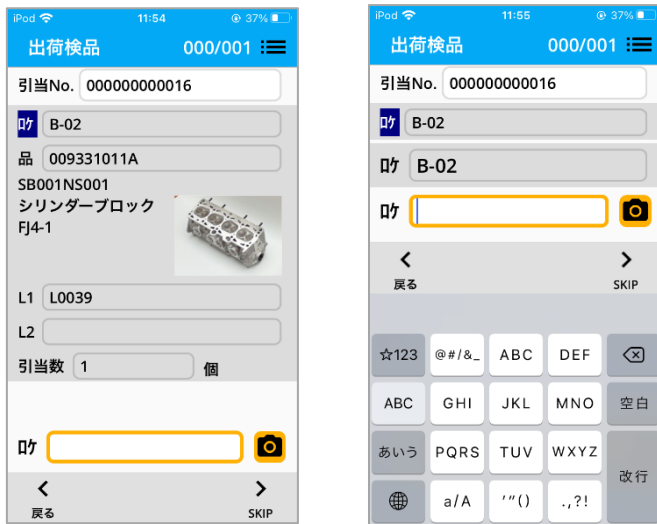
[2] 検品作業

作業すべき出荷引当伝票が決定すると、モバイル機器の画面に指示が表示されます。

未着手の明細のうち、ロケーション> 明細行 順で表示されます。

入力を指示されている項目は色が変わります。

ソフトウェアキーボードを表示された場合は、入力欄の上にも指示された項目が表示されます。



違う明細から作業したい時は [指示変更] ボタンをタップし、指示された引当明細を飛ばします。

[3] 検品の登録

出荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに出荷引当伝票に登録されています。モバイル機器への画面指示は、明細単位で着手されていない明細行が表示されます。

<未着手の引当伝票のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	

↓

<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	

この時点では済/未着手に関わらず、在庫は引当のままです。

↓

<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷検品伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	処理済

出荷引当伝票の内容が出荷検品伝票となり、出荷が確定します。

この時点で、在庫が引落されます。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、処理済情報は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の出荷引当伝票や出荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での出荷検品

同じ出荷引当伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、ピッキングリストまたは元伝票番号を入力して作業を行います。画面に表示される指示は未着手の明細行が表示されます。

[5] 元伝票番号検索について

出荷検品（本引当）で元伝票番号を入力（バーコード読み取り含む）した際、内部の検索処理としては2通りあります。

- ・完全一致検索
- ・先頭の0を外して検索（入力内容に先頭0があればそれらを外して検索）

ログイン直後は、まず完全一致検索を行い、ヒットしなければ、先頭の0を外して検索します。先頭の0を外して検索しヒットした場合、次回は先に先頭の0を外して検索し、ヒットしなければ完全一致検索を行います。

このことより、完全一致はもちろん、バーコードだけ固定長・先頭0埋めのパターンにも対応します。

パターン	登録内容例	バーコード内容例	検索結果
完全一致タイプ	123	123	ヒット
バーコードのみ固定長・先頭0埋め	123	000123	ヒット

[6] 指示明細の変更

モバイル機器の画面に表示される指示明細を変更することができます。

タイトル右の  をタップすると、（検品していない）指示明細一覧が表示されます。

（最大 300 行まで表示）

作業したい指示を選択し、[決定]ボタンをタップすることで変更します。



2-2-1 倉庫間出荷の操作

[1] 倉庫間入荷の同時登録

倉庫間入荷の同時登録を有効にすると、倉庫間出荷登録時に対応する倉庫間入荷も同時に登録します。

その場合、ヘッダ確認画面に「倉庫間入荷の同時登録」と表示されます。

また、出荷検品(伝票区分：倉庫間出荷)の検品完了画面にも倉庫間入荷の登録についてメッセージが表示されます。



ヒント！

倉庫間入荷の同時登録を有効にするには、以下の設定が必要です。

- ・システム設定＞システム運用＞使用項目 [倉庫台帳-使用項目] を ON
- ・倉庫台帳にて出荷元または出荷先倉庫の「同時登録倉庫」を ON

2-2-2 現品票（ラベル）発行

[1] 発行の流れ

Mアプリはブラザー製ラベルプリンターに設定されたテンプレートファイルを利用し、ラベル発行を行います。

テンプレートファイルとは、ブラザー製ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」で作成された、ラベルレイアウトファイルです。

機種や用紙サイズ、文字を印字する「テキストオブジェクト」やバーコードを印字する「バーコードオブジェクト」などが含まれます。

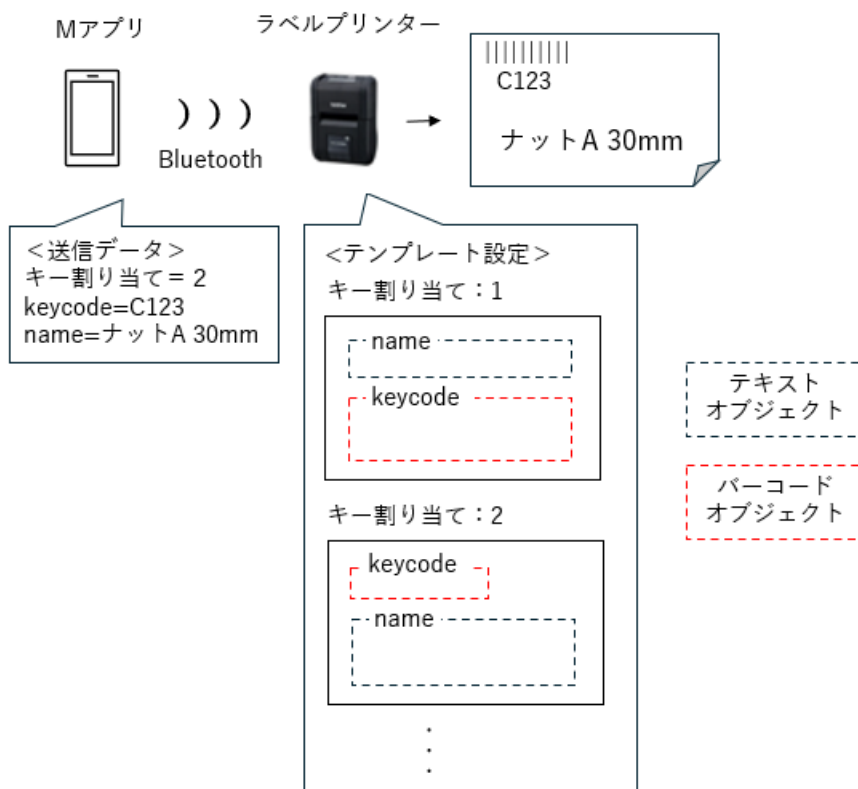
各オブジェクトには「オブジェクト名」が付きます。

テンプレートファイルは複数設定できます。

テンプレートファイルを PC からプリンターに転送（設定）する際、識別するための「キー割り当て番号」を付加します。

Mアプリは発行の際に、キー割り当て番号と、オブジェクト名＋内容を送信。

受信したラベルプリンターは、指定されたキー割り当てのテンプレートファイルを使い、各オブジェクトにデータを挿入し発行します。



[2] 標準テンプレートの提供

当社は標準的なラベルレイアウト（用紙サイズやラベルデザイン）で印字できる「標準テンプレートファイル」を提供します。

「標準テンプレートファイル」をダウンロードし、プリンターに設定してご利用いただけます。

[3] 対応機種やラベル、設定手順

オンラインサポートのシステム構築

「M アプリ ブラザー製ラベルプリンター設定手順」

に発行に必要な情報を掲載しています。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

- ・対応するブラザー製ラベルプリンターの機種や用紙
- ・標準テンプレートの入手方法
- ・発行に必要な事前の設定手順（プリンター側、在庫スイートクラウド側）
- ・テンプレートのデザイン変更

などをご覧ください。

本アプリケーションでラベル発行する前には必ずご確認ください。

2-23 件数が多い場合について

[1] 入力画面の明細件数について

入力画面での明細の最大件数は 999 件です。

※入荷・出荷実績画面の数量自動カウントアップありの場合、最大件数は 300 件となります。

[2] 在庫参照について

品目を特定しても、ロケーションやロット、在庫状態の違いで複数の在庫がヒットすることがあります。

在庫参照画面ではヒットした件数が多い場合、在庫状態>ロット1>ロット2>ロケーションの昇順で先頭 300 件を表示します。

[3] 品目選択について

品目コードや品目名を読み取った場合は複数の Key コードがヒットすることがあります。

品目選択画面ではヒットした件数が多い場合、Key コードの昇順で先頭 30 件を表示します。

[4] 元伝票番号について

入荷検品や出荷検品で元伝票番号を入力した場合、複数の入荷予定や出荷指示がヒットすることがあります。

対象選択画面ではヒットした件数が多い場合、伝票番号の昇順で先頭 999 件を表示します。

ヒント！

在庫参照、品目選択、元伝票番号において、最大表示件数を超える場合は件数表示が赤字となります。

第3章 入荷

3-1 入荷実績

品目の入荷情報を登録します。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは、仕入先、作業番号、元伝票番号、摘要を入力します（任意）。

仕入先のコード検索・名称検索では、入力した内容が台帳に存在しなければエラーとなります。

システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッド

入力項目		
仕入先		2-6 仕入先、出荷先、直送先の入力 参照
作業番号		2-5 実績入力でのヘッド項目の追加と削除 参照
元伝票番号		
摘要		
表示項目		
仕入先名		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

3-2 入荷検品

予め用意された入荷予定伝票に沿って入荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。(詳しくは2-19 入荷検品・出荷検品(仮引当)の操作参照)

- 入荷予定明細書のバーコードを読み取る
- 発注書など、上位システムで発行される帳票の番号 = 「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を入力します。

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに入荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2 - 1 9 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2 - 1 9 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
仕入先		
摘要		

○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
クォン		
在庫状態	必須	
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 7 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
クォン		
予定数		

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

3-3 入荷返品

品目の入荷返品情報を登録します。この処理で在庫が減ります。在庫状態も指定します。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは、仕入先、作業番号、元伝票番号、摘要を入力します（任意）。

仕入先のコード検索・名称検索では、入力した内容が台帳に存在しなければエラーとなります。

システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッド

入力項目		
仕入先		2-6 仕入先、出荷先、直送先の入力 参照
作業番号		2-5 実績入力でのヘッド項目の追加と削除 参照
元伝票番号		
摘要		
表示項目		
仕入先名		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

3-4 倉庫間入荷

品目の倉庫間入荷情報を登録します。この処理で出荷側倉庫の「積送ロケーション」の在庫が入荷側倉庫に移動します。

[1] 作業概要

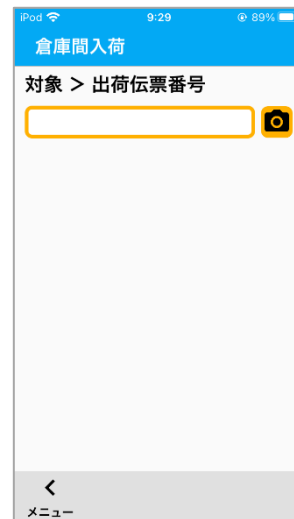
(1)ヘッダ情報入力

倉庫間出荷伝票の伝票番号を入力し、倉庫間入荷伝票の登録を行います。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷伝票番号	必須	
表示項目		
伝票日付		
出荷元倉庫		
摘要		




第4章 出荷

4-1 出荷実績

出荷する品目を登録します。この処理で在庫が引落されます。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは、出荷先、直送先、作業番号、元伝票番号、摘要を入力します（任意）。

出荷先、直送先のコード検索・名称検索では、入力した内容が台帳に存在しなければエラーとなります。

システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。*1

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

*1 出荷時の在庫状態 明細入力 が ON の場合は、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・
在庫状態・数量を入力します。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷先		2-6 仕入先、出荷先、直送先の 入力 参照
直送先		
作業番号		2-5 実績入力でのヘッダ項目の 追加と削除参照
元伝票番号		
摘要		
表示項目		
出荷先名		
直送先		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
クォン		
在庫状態		出荷時の在庫状態 明細入力 ON のみ
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Keyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ

4-2 出荷検品（仮引当）

予め用意された出荷指示伝票に沿って出荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。*1

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-19 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作参照）

- 出荷指示明細書のバーコードを読み取る
- 受注や売上など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を入力します。*2

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

*2 倉庫間出荷または出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合は、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を入力します。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 9 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 9 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
伝票区分		
出荷先／直送先		出荷のみ
出荷先倉庫		倉庫間出荷のみ
摘要		

(伝票区分：出荷)

(伝票区分：倉庫間出荷)

○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
quantity	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 7 品目の入力 参照
品目コードまたは Keyコード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
在庫状態		倉庫間出荷 または 出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合
quantity		
指示数		
残数		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ

(伝票区分：出荷)

(伝票区分：倉庫間出荷)

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

4-3 出荷検品（本引当）

予め用意された出荷引当伝票に沿って出荷作業を行います。この処理で在庫が引落されます。* 1

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の3通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-20 出荷検品（本引当）の操作 参照）

- ピッキングリストのバーコードを読み取る
- 納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する
- 何も入力せずENTキー押下で作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、ロケーション・品目・ロット1・ロット2・数量を入力します。* 2

入力を指示されている項目は色が変わります

全ての指示に対して作業が済むと出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

*2 倉庫間出荷または出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合は、ロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態・数量を入力します。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2 - 2 0 出荷検品 (本引当) の操 作 参照
表示項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2 - 2 0 出荷検品 (本引当) の操 作 参照
伝票区分		
出荷先 / 直送 先		出荷のみ
出荷先倉庫		倉庫間出荷のみ
摘要		

(伝票区分 : 出荷)

(伝票区分 : 倉庫間出荷)

第4章 出荷

○明細

入力項目		
アクション		システム設定により非表示も可能 *1
品目	必須	参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能
L2		*1
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2-7 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
在庫状態		倉庫間出荷 または 出荷時の在庫状態 明細入力 ON の場合
アクション		
引当数		
合計数		数量自動カウントアップ ON のみ
数量		

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

(伝票区分：出荷)

(伝票区分：倉庫間出荷)

4-4 出荷返品

一旦出荷された品目の返品を登録します。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1) ヘッド情報入力

まずは、出荷先、直送先、作業番号、元伝票番号、摘要を入力します（任意）。

出荷先、直送先のコード検索では、入力した内容が台帳に存在しなければエラーとなります。

システム設定により、ヘッド情報入力を自動でスキップすることも可能です。

(2) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッド

入力項目		
出荷先		2-6 仕入先、出荷先、直送先の 入力 参照
直送先		
作業番号		2-5 実績入力でのヘッド項目の 追加と削除参照
元伝票番号		
摘要		
表示項目		
出荷先名		
直送先		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

4-5 倉庫間出荷

他の倉庫へ移動する品目を登録します。この処理で在庫が積送中ロケーションへ移動します。

ここでは指示のない実績登録について説明します。出荷検品による登録を行う場合は、「4-2 出荷検品（仮引当）」または「4-3 出荷検品（本引当）」をご覧ください。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは出荷先倉庫を入力します。

その後、作業番号、元伝票番号、摘要を入力します（任意）。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ

入力項目		
出荷先倉庫	必須	2-5 実績入力でのヘッダ項目の追加と削除 参照
作業番号		
元伝票番号		
摘要		

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

第5章 振替

5 - 1 移動

在庫の移動を登録します。この処理で在庫のロケーションが変更されます。
ロケーションが使用項目になっていない場合、本機能は利用できません。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・在庫状態・送り元ロケーション・送り先ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○明細

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
在庫状態	必須	
送り元ロケーション		
送り先ロケーション		
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		

5-2 在庫状態変更

在庫の在庫状態の変更を登録します。この処理で在庫の在庫状態が変更されます。

[1] 作業概要

(1) 明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・変更前在庫状態・変更後在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○明細

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
変更前在庫状態	必須	
変更後在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Keyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

5-3 移動&在庫状態変更

在庫の移動と在庫状態の変更を登録します。この処理で在庫のロケーション及び在庫状態が変更されます。ロケーションが使用項目になっていない場合、本機能は利用できません。
振替伝票の伝票区分「汎用変更」として登録されます。

[1] 作業概要

(1)変更する在庫の呼び出し

検索条件を入力し、在庫を検索します。
表示された在庫情報から変更する在庫を選択します。

(2)明細情報入力

送り先ロケーション・変更後在庫状態・数量を入力し、最後に登録します。
送り先ロケーション・変更後在庫状態のどちらかは必須入力です。
ロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○在庫選択

入力項目		
倉庫		
品目		2-7 品目の入力 参照
品目名		
分類		
L1		システム設定により非表示も可能。 L1,L2 は日付形式の場合は範囲指定。
L2		
ロケーション		
在庫状態		
表示項目		
倉庫		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
在庫状態		
数量		

ロット1	ロット2	ロケーション	数量	状態
2020/09/13	L983x	A-01	100 個	通常品
2020/09/13	L983x	B-02	200 個	通常品
2020/10/01	L987z	B-02	150 個	通常品

第5章 振替

○明細

入力項目		
送り先アクション	必須	システム設定により非表示も可能
変更後在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目		2 - 7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
送り元アクション		
変更前在庫状態		
在庫数		

移動&在庫状態変更

品 009333102A
BS001NS001
バルブスプリング H10

L1 2020/09/13

L2 L983x

送り先 A-01 → B-02

送り元 通常品 → 不良品

数量 10 / 100 個

< 戻る 登録 >

第6章 棚卸

6-1 棚卸

棚卸する品目を登録します。この処理でモバイル棚卸数を更新できます。

[1] 作業概要

(1) 明細情報入力

ロケーション・バーコード・ロット1・ロット2・状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロケーション・ロット1・ロット2は任意入力です。

システム設定により論理数が非表示 かつ 入力した数量(加算では合計数)が論理数と一致しない場合は、警告を表示します。

※同じ在庫(PC 棚卸画面の同一明細行)に対する棚卸入力を、複数人が同時に行うと、警告チェック～登録の間に状況が変わることがあります。なお、登録では最新情報をもとに処理するため、抜けや重複が発生することなく、問題なく登録されます。

[2] 入力画面

入力項目		
ロケーション		最初に入力すると、次回から前回と同じ内容で自動入力。 変更する際は、品目入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。 システム設定により非表示も可能
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態	必須	初期値「通常品」で自動入力。 変更する際は、数量入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。
数量	必須	既に登録されていると、上書/追加の選択画面が表示されます。
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照 ロット1、2 (L1、L2) が表示での運用において、数量入力の際は非表示
品目名		
論理数		数量入力時のみ システム設定により非表示も可能
HT実棚		数量入力時のみ

<上書/追加選択画面>

第7章 在庫参照

7-1 在庫参照（品目別）

在庫を Key コードや品目コード、品目名の一部一致で行います。

[1] 作業概要

(1) 検索条件の入力

在庫を確認したい品目情報と対象倉庫を入力します。

(2) 在庫情報の表示

在庫情報を表示します。

任意の行（品目）を選択すると、数量の詳細情報が表示されます。

[2] 入力画面

入力項目	
倉庫	
品目	2-7 品目の入力 参照
品目名	
分類	
表示項目	
倉庫	
品目コードまたは Key コード	2-7 品目の入力 参照
品目名	
現品数	
出荷指示数	Pro のみ表示
出荷引当数	
出荷不能数	
出荷可能数	
入荷予定残	Pro のみ表示
有効在庫	
発注点	
単位	



7-2 在庫参照（詳細）

在庫を Key コードや品目コード、品目名の一部一致で行います。

[1] 作業概要

(1) 検索条件の入力

確認したい在庫の検索条件を入力します。

(2) 在庫情報の表示

在庫情報を表示します。検索条件により表示のレイアウトが切り替わります。

[2] 入力画面

入力項目		
倉庫		
品目		2-7 品目の入力 参照
品目名		
分類		
L1		システム設定により非表示も可能。 L1,L2 は日付形式の場合は範囲指定。
L2		
ロケーション		
状態		
表示項目		
倉庫		
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照
品目名		
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態		
数量		

ロット1 ロケーション	ロット2 数量	状態
2020/09/13	L983x	
A-01	100 個	通常品
2020/09/13	L983x	
B-02	200 個	通常品
2020/10/01	L987z	
B-02	150 個	通常品

第8章 ツール

8 - 1 現品票発行

在庫品に貼る現品シール（製品シール）を発行します。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

バーコード・ロット1・ロット2・ラベル入数・枚数を入力し、最後に発行します。

ロット1・ロット2・ラベル入数はロットありのレイアウトのみ入力します。

品目入力時に、ラベルレイアウトの切り替えとラベル入数初期値(ロットありのレイアウト選択時)の設定が可能です。

[2] 入力画面

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ラベル入数		
枚数	必須	
表示項目		
レイアウト名		
品目コードまたはKeyコード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		



(ロットなし)



(ロットあり)



8-2 バーコード検証

バーコードの種類や内容を確認したい時に使用します。

[1] 作業概要

(1)バーコード/QRコード読取

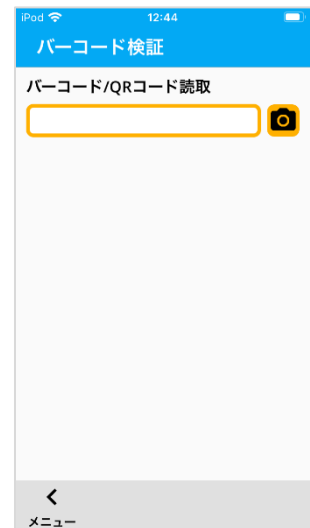
バーコードや QR コードを読み取り、種別、桁数、内容を表示します。

この機能は、システム設定のモバイル(拡張)タブ-直接取込時の処理-読み取りシンボルの設定にかかわらず、バーコード、QR コードの読み取りが可能です。

内容については、コピーが可能です。

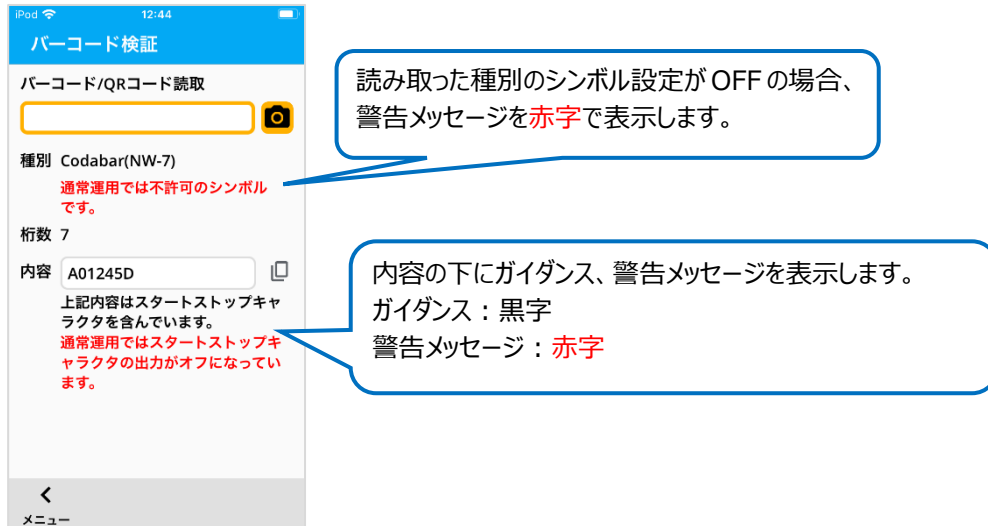
[2] 入力画面

入力項目		
バーコード/ QRコード読取	必須	2-7
表示項目		
レイアウト名		
種別		読み取り内容の種別が表示されます。
桁数		読み取り内容の桁数が表示されます。
内容		読み取り内容が表示されます。



[3] ガイダンス・警告メッセージ

バーコード検証画面では、システム設定によってガイダンスや警告メッセージが表示されます。




<ガイダンスや警告メッセージの条件とメッセージについて>

種別	ガイダンス(*1)	警告メッセージ(*1)
UPC-A	表示なし	「先頭に"0"を付加する」設定が ON
		「通常運用では先頭に"0"を付加します。」と表示します。
Code39	「チェックデジットの照合を有効にする」設定が ON	「チェックデジットの照合を有効にする」設定が ON かつ 読み取り内容のチェックデジットが間違っている
	「通常運用ではチェックデジットの照合が有効です。」と表示します。	「上記内容はチェックデジットが不正です。」と表示します。
Codabar(NW-7)	「上記内容はスタートストップキャラクターを含んでいます。」と表示します。	「スタートストップキャラクターを出力する」設定が OFF
		「通常運用ではスタートストップキャラクターの出力がオフになっています。」と表示します。

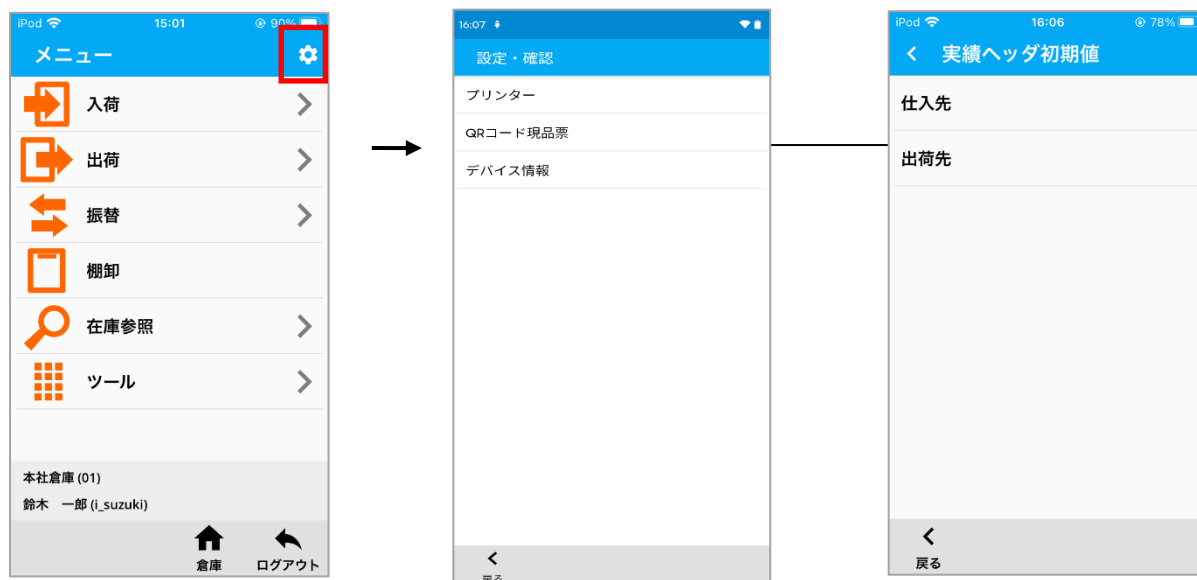
*1 システム設定> モバイル(拡張)タブから設定が可能です。

第9章 設定・確認

9-1 設定・確認メニューの呼び出し

設定・確認メニューは、メニュー画面の  をタップして呼び出します。

実績ヘッダ初期値は、二階層メニューとなっています。



※デバイス情報メニューは Android アプリのみ表示されます。

9-2 プリンター設定

現品票発行で使用するプリンターの設定を行います。

[1] 作業概要

(1) プリンター選択

Bluetooth でモバイル機器とペアリングを行ったプリンターを選択します。

[設定]ボタンをタップすると設定を保存します。

[2] 入力画面

入力項目		
プリンター	必須	
表示項目		
設定済プリンター		



9-3 実績ヘッダ初期値

デバイスごとに仕入先や出荷先の初期値を設定します。

[1] 作業概要

(1)実績ヘッダ初期値の入力

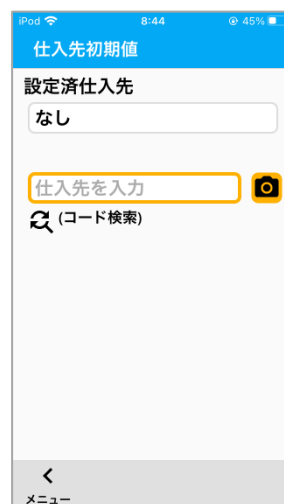
「仕入先」または「出荷先」を入力します。

[設定]ボタンをタップすると設定を保存します。

保存した設定値をクリアする場合は、[クリア]ボタンをタップしてください。

[2] 入力画面

入力項目		
仕入先 or 出荷先		2-6 仕入先、出荷先、直送先の入力 参照 ※コード検索・名称検索のみ可能
表示項目		
設定済仕入先 or 設定済出荷先		



9-4 デバイス情報

[1] 作業概要

デバイス情報を表示します。

[2] 確認画面

表示項目		
モデル(*1)		デバイスのモデル名称を表示

*1 システム設定> モバイル(拡張)> [Android 端末 動作設定]を行う場合は、この画面に表示されるモデル名称を設定してください。



第10章 付録

10-1 警告

[1] 警告画面表示

本アプリケーションで警告が発生した時は、警告メッセージが表示されます。

[続行]や[登録]をタップすると、処理を続行します。

[戻る]をタップすると前の画面に戻ります。



[2] 警告一覧

警告メッセージ	内容	対象
在庫マイナス！	数量入力時において、PC 在庫数にマイナスが発生	出荷実績 倉庫間出荷 入荷返品 移動 在庫状態変更
発注点を割り込みます。	伝票登録時、発注点の割り込みが発生	出荷実績 (数量自動カウントアップがON の場合のみ)
現品在庫がマイナスになります。	伝票登録時、PC 在庫数にマイナスが発生	
在庫がマイナスになります。	伝票登録時、引当残数にマイナスが発生	

第7章 付録

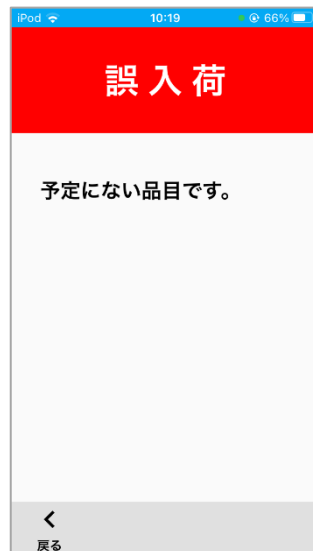
有効在庫がマイナスになります。	伝票登録時、有効在庫にマイナスが発生	
明細最大件数です	品目入力時、明細登録数が999に到達	入荷実績 入荷返品 出荷実績 出荷返品 倉庫間出荷 移動 在庫状態変更
合計数が論理数と一致して ません。そのまま登録します か？	棚卸設定の「論理現品数を表 示する」設定がOFFの場合、 論理数と一致していない数 量を入力した	棚卸

10-2 エラー

[1] エラー画面表示

本アプリケーションでエラーが発生した時は、エラー告知画面が表示されます。

[OK]や[戻る]をタップすると前の画面に戻ります。



注意！

一部、通常画面にエラーメッセージが表示されるものもあります。

[2] エラー一覧（共通）

エラーメッセージ	内容	対象
ログインできません グループ ID、ユーザー、パスワードに誤りが無いことを確認してください	入力されたグループ ID、ユーザー・パスワードでログインできない	ログイン画面 ログイン時
通信エラー インターネット接続に問題がないか確認してください。	通信時にエラーが発生した	共通
通信タイムアウト インターネット接続に問題がないか確認してください。接続に問題ない状況で、繰り返しタイムアウトが発生する場合は、システム管理者へ問合せしてください。	通信時にタイムアウトが発生した	共通
「ユーザー名」（ユーザー ID）は、別の端末でログインされています。同一ユーザーで複数同時にログインすることはできません。別のユーザーで再ログインしてください。	同じユーザーが別の端末でログインした	共通
バーコードの桁数が長すぎます。	バーコードで読み込んだデータが、入力項目の最大長さを超えている	共通 バーコード読取時
GS1 を読み取りました。	品目入力待ち以外で GS1 を読み込んだ	共通
現品票発行された QR コード形式を読み取りました。	品目入力待ち以外で現品票 QR コードを読み込んだ	共通
この品目はロット 1 が必須入力です。	ロット 1 が必須の品目に、空で入力した	共通 ロット 1 入力時
この品目はロット 2 が必須入力です。	ロット 2 が必須の品目に、空で入力した	共通 ロット 2 入力時
品目台帳登録なし	Key コード(品目コード)入力時、品目台帳に登録なし	共通 品目入力時
ロケーション台帳登録なし	ロケーションコード入力時、ロケーション台帳登録なし	共通 ロケーション入力時
仕入先台帳登録なし	仕入先コード入力時、仕入先台帳登録なし	共通 仕入先入力時

出荷先台帳登録なし	出荷先コード入力時、出荷先台帳登録なし	共通 出荷先入力時
直送先台帳登録なし	直送先コード入力時、出荷先台帳登録なし	共通 直送先入力時
積送中の在庫は転記できません	在庫転記で積送中の在庫を選択した	共通 在庫転記時
300 行超えました。これ以上登録できません。	品目入力時、300 行を超える明細を入力した	入荷実績 出荷実績 (数量自動カウントアップ ON の場合のみ) 品目入力時
送り先ロケーションが送り元と同じです。	送り先ロケーション入力時、送り元のロケーションと同じロケーションを入力した	移動 移動 & 在庫状態変更 ロケーション入力時
変更後在庫状態が変更前と同じです。	変更後在庫状態入力時、変更前と同じ在庫状態を入力した	在庫状態変更 移動 & 在庫状態変更 在庫状態入力時
明細に未使用(ロット)のデータがあります	システム設定のモバイル設定で未使用とされている項目にデータが存在する在庫を選択した	移動 & 在庫状態変更 在庫選択時
在庫がマイナスになります。	マイナスの在庫を選択した または、在庫数より大きい数量を入力した	移動 & 在庫状態変更 在庫選択時
棚卸が開始されていません。	棚卸メニューに入る際に、ログイン倉庫で棚卸開始されていない	棚卸 棚卸メニュー選択時
棚卸対象外です。	一部棚卸を実施している際、品目入力時、対象外の棚卸データを入力した	棚卸 品目入力時
在庫はありません。	指定品目の在庫がなかった	在庫参照(品目別) 在庫参照(詳細) 在庫検索時
ロケーションを指定する場合は倉庫を指定してください。	検索条件で倉庫を<条件なし>にしてロケーションを指定した	在庫参照(詳細) 在庫検索時
テンプレートが設定されていません。PC アプリのシステム設定「現品票発行 テンプレート設定」で設定を行ってください。	現品票ラベル発行メニューに入る際に、PC アプリのシステム設定でテンプレート設定を行っていない	現品票ラベル発行 現品票ラベル発行メニュー選択時
プリンターが設定されていません。設定メニューでプリンターの設定を行って下さい。	現品票ラベル発行メニューに入る際に、プリンターの設定を行っていない	現品票ラベル発行 現品票ラベル発行メニュー選択時
プリンターとの通信ができません。	ラベル発行時、設定したプリンターとの通信ができなかった	現品票ラベル発行 ラベル発行時

第7章 付録

プリンターのカバーが開いています。カバーを閉めてから再度発行を行ってください。	ラベル発行時、プリンターのカバーが開いていた	現品票ラベル発行ラベル発行時
ラベル用紙が切れています。ラベル用紙を給紙してから再度発行を行ってください。	ラベル発行時、プリンターのラベル用紙が切れていた	現品票ラベル発行ラベル発行時

[3] エラー一覧 (Pro のみ)

エラーメッセージ	内容	対象
ピッキングリストなし	引当伝票入力画面で空 ENT での対象伝票呼出時、ピッキングリストが1つも存在しない	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたピッキングリストが見つかりません	引当伝票入力画面でピッキングリストまたは元伝票番号での対象伝票指定時、入力された伝票番号のピッキングリスト(引当伝票番号)が存在しない	出荷検品 引当伝票入力時
すでに検品済みの指示(引当)No.です	引当伝票入力画面で入力された伝票番号のピッキングリストが検品済	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたピッキングリストが複数存在します	引当伝票入力画面で元伝票番号での対象伝票指定時、入力された伝票番号のピッキングリストが複数存在する	出荷検品 引当伝票入力時
明細に未使用(ロット)のデータがあります	対象の指示/引当伝票確定時、システム設定のモバイル設定で未使用とされている項目に指示/引当データが存在する	出荷検品 引当伝票入力時
指定されたロケーションと異なります	入力されたロケーションが指示内容と異なる	出荷検品 ロケーション入力時
予定にない品目です 指定された品目と異なります	入力された品目が指示内容と異なる	出荷検品 品目入力時
指定されたロット1と異なります	入力されたロット1が指示内容と異なる	出荷検品 ロット1入力時
指定されたロット2と異なります	入力されたロット2が指示内容と異なる	出荷検品 ロット2入力時
数量が予定数に対して不足しています	入力された数量が指示内容より小さい	出荷検品 数量入力時
数量が予定数を超過しています	入力された数量が指示内容より大きい	出荷検品 数量入力時

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル
Tel 045-472-0938 Fax 045-472-0934

在庫スイトクラウド マルチデバイスオプション M アプリ マニュアル
2024年10月23日 第1.1版